

商 学 部

外国語科目履修案内

内容に変更が生じた場合は塾生サイトにてお知らせします。

目 次

外国語科目の履修にあたって	1
ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語 留年者および単位不足者の再履修について	3
「エントリー」について.....	5
クラス発表について	6
英語履修案内	7
ドイツ語履修案内	19
フランス語履修案内	23
中国語履修案内	33
スペイン語履修案内	35
総合教育セミナー履修案内	37
各言語選択・インテンシブクラス申込用紙	65

外国語科目の履修にあたって

商学部の外国語科目には、全員が履修しなければならない 1) 必修外国語科目 (16単位) と、2) 必修の外国語を所定の単位以上に集中的に学びたい人や必修以外の外国語を履修したい人のために、自主的に選択できる外国語科目があります。1) と 2) では、履修できる科目の種類と履修方法に違いがあるので、以下の諸注意を参考に履修申告の手続きをとってください。

※なお、2) の必修外国語をもっと集中的に学びたい場合、英語以外の言語ではインテンシブクラスに申し込みます。(詳しくは、次ページの 2 に加えて、各言語の履修案内ページを参照してください。)

1. 必修外国語科目について

商学部の必修外国語は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語の 5 言語から、2 言語を履修することになります。履修方法は第 1 学年と第 2 学年の各学年で、2 言語のそれぞれを週 2 回受講することが必要です。したがって、必修外国語だけで毎週 4 コマの講義を受講することになります (1 コマ=週 1 回 90 分授業)。

外国語科目の単位は、通年 1 コマで 2 単位なので、毎週 2 言語 (各言語毎に 2 コマの計 4 コマ) を履修し合格すれば、**1 年間に合計 8 単位取得することになります。卒業に必要な必修外国語の単位数は 16 単位**なので、第 1 学年で 2 言語 8 単位、第 2 学年でも 2 言語 (第 1 学年で選択したものと**同じ言語を履修しなければならない**) 8 単位を取得すれば、第 1・第 2 学年で合計 16 単位取得でき、卒業に必要な単位数を充足します。

必修外国語を受講するときのクラスには、クラスが予め指定されるもの (指定クラス制) と、クラスを選択できるもの (選択必修クラス制) があります。指定クラス制をとる科目と選択必修クラス制をとる科目の分類は次のようになります。

指定クラス制をとる科目

第 1 学年配当のすべての外国語科目、第 2 学年配当のドイツ語 IVa, IVb およびフランス語 IVa, IVb を除くすべての外国語科目。

※なお、インテンシブクラスの履修を希望する場合は、指定クラスが一般と異なりますので、所定の期間に「インテンシブクラス申込書」(巻末) を提出する必要があります (詳細は p. 5 を参照のこと)。

選択必修クラス制をとる科目

第 2 学年配当のドイツ語 IVa, IVb、フランス語 IVa, IVb

選択必修クラス制をとる上記科目を履修するためには、必ず所定の期間に「Web エントリー」を行うことが必要です。エントリーがない場合は、これらの科目を履修できません。

なお、履修申告の方法は言語毎に異なりますので、各言語の履修案内を熟読して履修申告してください。

2. 必修以外の外国語科目について

自主強化科目としての外国語科目

総合教育科目の第Ⅳ類（自主強化科目）に指定演習科目として各言語毎に用意された科目があります。英語はオプション科目として、テーマ別に少人数のクラスが用意されます（詳しくは7ページ以降の英語履修案内を参照）。英語以外の必修外国語科目の場合は、第1学年配当のドイツ語インテンシブⅢa, b、フランス語インテンシブⅢa, b、中国語インテンシブⅢa, b、スペイン語インテンシブⅢa, b、第2学年配当のドイツ語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、フランス語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、中国語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II、スペイン語インテンシブⅥ-I, Ⅵ-IIが指定演習科目となります（詳しくは、21ページ以降の各初習言語の履修案内を参照）。

他学部設置の外国語科目および外国語教育研究センター設置の外国語科目

他学部設置の外国語科目のうち、その学部の必修科目でないものや、外国語教育研究センターに設置されている講座も、総合教育科目Ⅲ類として履修できます。ただし指定演習科目として履修できるかどうかについては、商学部の各語学担当者、または商学部学習指導担当者と相談したうえで履修手続きをとってください。

3. 必修外国語科目不合格者の再履修と、留年者の必修外国語履修について

1) 第1学年に留まった者

ー英語の場合

P.11「(7) 1年の必修の英語科目を落とした場合」の「i. 原級（1年生）に留まった者」を参照してください。

ー英語以外の語学の場合

P.3「ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語留年者および単位不足者の再履修について」の「1. 1年で原級に留まった者」を参照してください。

2) 第2学年に進級した者

各語学のⅠa, ⅠbおよびⅡa, Ⅱbの両方が不合格の者は、第1学年配当のその科目を再履修することが必要です。そのうえで、さらに第2学年配当の科目も履修してください。

ー英語の場合

P.12「(7) 1年の必修の英語科目を落とした場合」の「ii. 第2学年に進級した者」を参照してください。

ー英語以外の語学の場合

P.3～4「ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語留年者および単位不足者の再履修について」の「2. 2年に進級した者および2年で原級に留まった者」を参照してください。

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語 留年者および単位不足者の再履修について

留年（＝原級に留まる者という）および単位不足者は、次の規定に従って再履修すること。
ただし、再履修クラスを履修することで、同一言語の必修外国語科目が週に4コマを超えてはいけない。

（注1：週1回・90分の授業を1コマという。）

（注2：ドイツ語・フランス語はⅠa, b・Ⅱa, b・Ⅲa, bが指定クラス、Ⅳa, bが選択必修クラス。中国語・スペイン語はすべてが指定クラス。）

1. 1年で原級に留まった者

1) Ⅰa, b・Ⅱa, bとも不合格の者

1年のⅠa, b・Ⅱa, b各1コマを指定クラスで再履修

2) Ⅰa, b・Ⅱa, bどちらかが不合格の者

Va, b（特修）1コマ^(※1)と2年生設置指定クラス1コマ^(※2)を履修

※1 フランス語：田上竜也君担当 Va, bを履修

※2 スペイン語：2年生設置指定クラスとしてスペイン語Ⅲa, bを履修

3) Ⅰa, b・Ⅱa, b両方合格の者

Ⅲa, bとⅣa, b各1コマを履修

2. 2年に進級した者および2年で原級に留まった者

1) Ⅰa, b・Ⅱa, bとも不合格の者

1年のⅠa, b・Ⅱa, b各1コマを指定クラスで再履修

*履修クラスは1年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

Ⅲa, b・Ⅳa, b各1コマを履修（ただし、中国語Ⅲa, bが不合格であった場合はXa, bとⅣa, bを履修する）

2) Ⅰa, b・Ⅱa, bどちらかが不合格の者

Va, b（特修）1コマ^(※)とⅢa, b・Ⅳa, b各1コマを履修（ただし、中国語Ⅲa, bが不合格であった場合はXa, bとⅣa, bを履修する）

※フランス語：田上竜也君担当 Va, bを履修

3) Ⅲa, b・Ⅳa, bとも不合格の者

Ⅲa, b・Ⅳa, b各1コマを再履修（ただし中国語はXa, bとⅣa, bを履修する）

4) Ⅲa, bが不合格の者

Ⅲa, b1コマを再履修（ただし中国語はXa, bを履修する）

5) Ⅳa, bが不合格の者

Ⅳa, b1コマを再履修

3. 3年に進級した者

1) I a, b・II a, bとも不合格の者

1年のI a, b・II a, b各1コマを指定クラスで再履修

*履修クラスは1年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

2) I a, b・II a, bどちらかが不合格の者

V a, b（特修）1コマ^(※)を履修

※フランス語：田上竜也君担当 V a, bを履修

3) III a, b・IV a, bとも不合格の者

III a, b・IV a, b各1コマを再履修（ただし中国語はX a, bとIV a, bを履修する）

*再履修者は2年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

4) III a, bが不合格の者

III a, b1コマを再履修（ただし中国語はX a, bを履修する）

*再履修者（ドイツ語以外）は2年生の時間割で確認すること（原則として自分の所属クラス）

5) IV a, bが不合格の者

IV a, b1コマを再履修

4. インテンシブクラス履修者

ドイツ語、中国語、スペイン語のインテンシブ科目の再履修の規定は次のとおり。フランス語インテンシブ科目が不合格となった場合は個別対応となるため、科目担当者に確認すること。

- ①インテンシブ科目のいずれかが不合格の場合、翌年度は一般クラスに編入する。
- ②インテンシブ科目のうち、必修科目（I a, b・II a, b・IV a, b・V a, b）が不合格の場合、一般クラスの再履修の規定に準じて履修する。
- ③インテンシブ科目のうち、自主強化科目（III a, b・VI-I, VI-II）が不合格の場合、再履修はなし。
- ④2年インテンシブ科目が春学期末の段階でいずれか1つでも不合格となった場合、同秋学期から一般クラスを履修する。自主強化科目（VI-II）は削除申告。

5. 第2学年配当科目の再履修について ※2018年度以前の入学者は対象外

春学期に第2学年配当科目（III a, IV a）の単位を取得できなかった者は、秋学期に開講される同科目III a, IV a（フォローアップクラス）を追加申告し、III b, IV bと並行して履修することができる。

また、秋学期に第2学年配当科目（III b, IV b）の単位を取得できなかった者は、次年度春学期に開講される同科目III b, IV b（フォローアップクラス）を履修することができる。

*時間割で自分の所属クラスを確認できない場合は、商学部掲示板にて確認すること

注意！

上記各語学の選択必修クラスを履修する者は、期限内に必ずエントリーすること。履修クラス発表については、P. 6を参照のこと。

「エントリー」について

1. エントリー期間

1) Web エントリー

ドイツ語IVa, IVb 3月25日(水) 10:00~30日(月) 16:45まで

フランス語IVa, IVb 3月25日(水) 10:00~30日(月) 16:45まで

2) 申込書提出

英語(自主強化科目) 4月1日(水) 8:45~3日(金) 10:30まで

ドイツ語インテンシブクラス^(※1) 4月3日(金)10:00まで(10:30~面接 D301)

フランス語インテンシブクラス^(※2) 4月3日(金)10:00まで(10:30~面接 D201)

中国語インテンシブクラス^(※1) 4月3日(金)10:00まで(2年 10:30~1年 11:00~面接 D202)

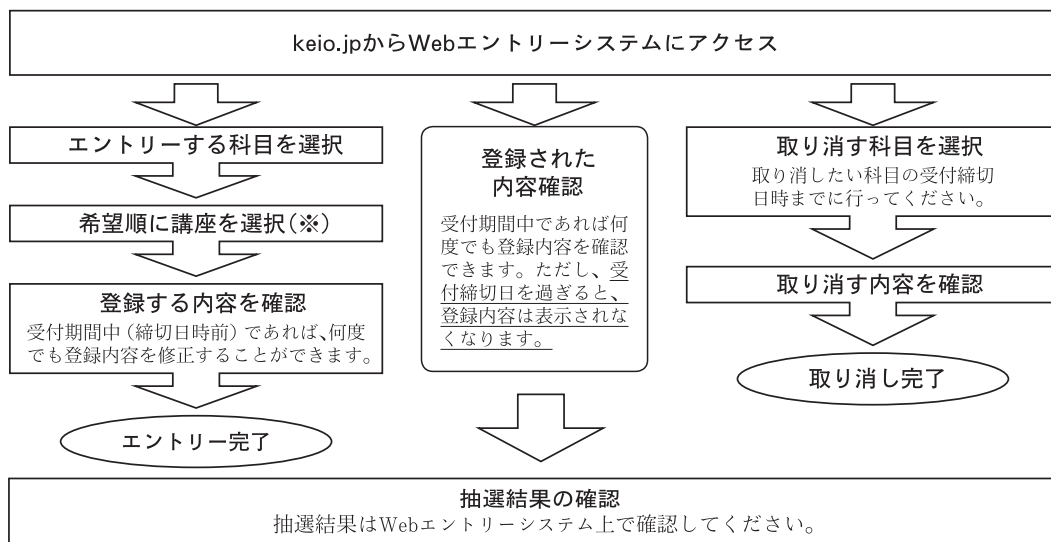
スペイン語インテンシブクラス 4月3日(金)10:00まで(10:30~面接 D304)

※1 新入生と、2年次からインテンシブクラスへの編入を希望する者。

※2 新入生のみ。2年次の履修を希望する者は別日程の選抜試験を受けること。

2. エントリー方法

1) Web エントリー



※希望順位について

ドイツ語IVa, b 第5希望まで選択 フランス語IVa, b 第5希望まで選択

2) 申込書提出

巻末の申込書に必要事項をすべて記入し、所定の期日までに日吉学生部内レポートボックスに提出してください。

クラス発表について

1. クラス発表日時

3月30日(月) 午前	中国語Ⅳa, Ⅳb、スペイン語Ⅳa, Ⅳb
4月2日(木) 午前	ドイツ語Ⅳa, Ⅳb、フランス語Ⅳa, Ⅳb
4月6日(月) 午前	各インテンシブクラス
4月7日(火) 正午	英語リーディングⅠa, Ⅰb、英語コミュニケーションⅠa, Ⅰb、 英語リーディングⅡa, Ⅱb、英語コミュニケーションⅡa, Ⅱb、 英語（自主強化科目）

※上記の英語科目の授業は4月8日(水)開始

英語クラス発表は早まる可能性があります。

早めに確認して授業開始までに教科書を購入してください。

2. クラス発表

- 1) Web エントリーシステム (Web エントリー科目、必修外国語科目)

http://www.gakuji.keio.ac.jp/web_system.html

- 2) keio.jp (申込書提出科目)

<http://keio.jp/>

各自、指定クラスのとおり履修申告を行うこと。

英語履修案内

商学部の英語教育

(1) 授業

商学部の英語科目は、効果的に学習できるよう、レベル別のクラス編成を行っているのが特徴です。商学部が学内で行う TOEIC の IP テスト*を全員が受験し、その結果を基に、レベル別に授業を履修することになります。また英語力を一層高めたい学生のために、多彩な英語科目を選択できるようにしているのが第2の特徴です。

第1学年から説明しましょう。英語履修チャート (P.13) に見られるように、英語は必修科目 H (Hisshu) と選択科目 S (Sentaku 自主強化科目など) の2種に大別されます。H (1学年4科目各1単位で合計4単位) は英語を選択した学生が必ず履修しなければならないもので、第1学年は、講読を中心とする「英語リーディング I a」(春学期)、「英語リーディング I b」(秋学期) (春秋セットで同じクラスを履修) と、表現力を中心とする「英語コミュニケーション I a」(春学期)、「英語コミュニケーション I b」(秋学期) (春秋セットで同じクラスを履修) からなっています。基礎、中級、準上級、上級が用意されています。

第1学年

英語リーディング I a (春学期)、英語リーディング I b (秋学期)

リーディングスキルの向上を主たる目的とする演習を行う。

長文読解、パラグラフリーディング、スピードリーディング、サマリー作成、語彙力の向上などを通して総合的な英語理解力を涵養する。

英語コミュニケーション I a (春学期)、英語コミュニケーション I b (秋学期)

コミュニケーションスキルの向上を主たる目的とする演習を行う。

会話、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング、リスニングなどを通じて、総合的な英語表現力を涵養する。

TOEIC の IP テスト (4月入学時実施) によって決定された自分のレベルのクラスが指定されます。

第2学年も同様に H に「英語リーディング II a」(春学期)、「英語リーディング II b」(秋学期)「英語コミュニケーション II a」(春学期)、「英語コミュニケーション II b」(秋学期)があります。

*TOEIC (トイーック) とは Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。IP とは Institutional Program の略で、団体特別受験のことです。

第2学年

英語リーディングⅡa（春学期）、英語リーディングⅡb（秋学期）

英語リーディングⅠa，Ⅰbで培ったリーディングスキルをさらに向上させることを主な目的とする。

長文読解、パラグラフリーディング、スピードリーディング、サマリー作成、語彙力の向上などを通して総合的な英語理解力を涵養する。

英語コミュニケーションⅡa（春学期）、英語コミュニケーションⅡb（秋学期）

英語コミュニケーションⅠa，Ⅰbで培ったコミュニケーションスキルをさらに向上させることを主な目的とする。

ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、ライティング、リスニングなどを通して総合的な英語表現力を涵養する。

1年次秋学期末に行われる TOEIC IP テストによりレベル分けが行われ、(基礎)、(中級)、(準上級)、(上級) のレベル別のクラスが指定されます。

意欲のある学生はさらに、1，2年共通のSを履修することによって学力を高めることができます。自主強化科目（総合教育科目Ⅳ類）には「英語ディスカッション」、「英語ディベート」、「英語アカデミックライティング」、「英語プレゼンテーション」、「英語リスニングセミナー」、「英語リーディングセミナー」（すべて半期2単位）が設置されています。さらに「総合教育セミナー」には英語で行われている授業もあります。また、外国語教育研究センターの様々な英語科目も総合教育科目Ⅲ類として履修することができます。このように、HとSをうまく組み合わせれば、英語をインテンシブに学習することができます。インテンシブに学習したことを認証する国際教養プログラム認定証を取得することもできます。国際教養プログラム修了を4年間を通しての目標としてチャレンジできます（詳しくは別冊の『国際教養プログラム・数理科学プログラム』パンフレットを参照してください）。

第3学年と第4学年には必修科目はありませんが、英語科目が設置されていて、4年間を通して英語の学習を継続して行うことができます。「外国語演習」（英語）にはプレゼンテーションやリーディング（すべて半期2単位）などの授業があります。また、「関連課題研究／国際教養演習」にも英語で行われる授業があり、英語を使って研究・発表することによってさらに英語の運用能力を高めることもできます。三田の外国語教育研究センターでも多彩な英語科目（「商学関連科目」または「自由科目Ⅰ」として履修可能）が設置されています。

なお、英語を必修として履修していない学生が英語科目を履修する場合は、自主強化科目などの選択科目（S）のほかに、必修（H）として設置された科目も、担当者の許可があれば自由科目として履修することができます。

(2) 英語科目のレベルについて

1 学年の必修英語は、1 年次 4 月の全員受験の TOEIC IP テストに基づいて、(基礎)、(中級)、(準上級)、(上級)に分けられます。2 学年の必修英語は 1 年次の秋学期末に行われる全員受験の TOEIC IP テストに基づいて、同様に (基礎)、(中級)、(準上級)、(上級)に分けられます。

1 年入学時の TOEIC IP 試験結果→英語リーディング I a, I b およびコミュニケーション I a, I b のレベル決定

1 年秋学期末の TOEIC IP 試験結果→英語リーディング II a, II b およびコミュニケーション II a, II b のレベル決定

に使われます。これらの科目が未取得科目となって再履修する場合、上記決定のレベルで履修してください。

TOEIC IP テストは必修英語履修者全員が受けなければなりません。この試験を受けなかった人には、様々な履修上の弊害が生じます。

(3) 成績評価について

必修科目 (H) は春学期、秋学期をセットで履修しますが、成績は春、秋別々に 1 つずつつきます。成績は原則として試験と平常点によって決定されます。それぞれ各レベルのクラスごとに成績評価がなされます。成績表にはレベルが表記されます。

(4) 第 1 学年、第 2 学年必修英語の履修方法

- i. 英語リーディング I a, I b, 英語コミュニケーション I a, I b, 英語リーディング II a, II b, 英語コミュニケーション II a, II b は、すべて TOEIC IP 試験の結果により決定されたレベルに従ってクラスが指定されます。
- ii. 新 1 年生の必修英語のクラス分けの結果は 4 月 7 日(火) 正午に発表します。テキストはこの発表を見て、第 1 回目の授業前に購入しておいてください。
- iii. 一度決定したクラスは変更することはできません。
- iv. Web 履修申告では、決定したクラス情報を正しく入力してください。決定クラスと異なるデータを入力した場合、不一致データのため無効となり、その科目の履修ができなくなります。
- v. 外国語教育研究センターの「英語最上級 アドバンスト英語(a)(b)」(日吉開講)をもって必修英語の単位を充当できる場合があります。充当されない科目もありますので注意してください。詳細は掲示されますので、参照してください。ただし、「アドバンスト英語」は定員超過などの理由で履修できない場合があります。その場合は、指定された商学部の英語クラスを Web 履修申告してください。「アドバンスト英語」の受講を許可され、商学部必修英語(上級クラス)の単位充当を申請する学生は、マークシートによる履修申告を、学生部で履修申告期間内に行ってください。

なお英語の必修科目は日吉のみに設置されています。必修科目未取得のまま3年に進級した場合には、当該科目を登録した時点におけるレベルのクラスが指定されます。必ず未取得科目すべての登録を行い履修しなければなりません。

(5) 自主強化科目(1・2年共通)などの選択科目の履修方法および認定証の授与について

(2)－(4)で説明された必修科目(H)に加え、選択科目(S)を履修することができます。授業の内容については14頁から18頁を参照してください。また、国際教養プログラム(英語圏)が設けられており、一定単位数の選択科目を履修した学生には認定証が授与され、英語学習に努力したことが認証されます。詳しくは、別冊の『国際教養プログラム・数理科学プログラム』パンフレットを参照してください。

- i. 自主強化科目(総合教育科目Ⅳ類):「英語ディスカッション」、「英語ディベート」、「英語アカデミックライティング」、「英語プレゼンテーション」、「英語リスニングセミナー」、「英語リーディングセミナー」の履修希望者は、巻末の「英語選択(自主強化科目)履修希望用紙」に記入し、4月3日(金)10:30までに日吉学生部内レポートボックスに提出してください。用紙提出は4月1日(水)8:45から受け付けます。(用紙の提出は一人につき1枚です。履修希望用紙に記載されている注意をよく読んで申請してください。)

これらの科目は特にレベル指定はしていません。講義要綱をよく読んで自分でふさわしい授業を履修してください。半期科目で、2単位ですので、積極的に英語を勉強する心構えが必要です。1クラス15名程度という定員がありますので、希望者が多い場合は履修できない場合もあります。keio.jp上で、履修が許可されているか確認してください。授業の開始日は必修英語と同じです。

- ii. 各クラスとも、クラス決定の結果は4月7日(火)正午に発表します。

- iii. 外国語教育研究センターで履修を許可されて「総合教育科目Ⅲ類」として単位を希望する人は、Webによる履修申告をしてください。なお外国語教育研究センターの科目をとる場合、商学部の必修英語科目のレベルは履修条件には関係ありませんので、どのレベルの人も自由に履修してください。ただし、外国語教育研究センターの最上級は帰国生程度のレベルですので注意が必要です。

3・4年で三田の外国語教育研究センターの科目をとる場合は「商学関連科目」または「自由科目Ⅰ」として履修することができます。

- iv. 国際センター設置科目を商学部の「総合教育科目Ⅲ類」の単位として取得したい場合は、Webによる履修申告をしてください。

各研究科設置の科目(大学院生用)を除くすべての科目(国際センター講座:すべて英語で授業が行われています)が履修できます。2020年度現在は三田のみで開講されています。3・4年で履修する場合は「商学関連科目」としてとるか「自由科目Ⅰ」として取るか申告時に決めて履修することになります。その後の変更はできません。

(6) 1年の必修の英語科目を落とした場合

英語の半期履修については、手続き方法を確認のうえ、必ず所定の手続きを行ってください（2019年度から Web 上で申請することになりました）。

- i. 原級（1年生）に留まった者：落とした1年生の英語科目すべてと、希望する場合は、1科目（半期）でも履修終了のものがある場合は、その英語科目に対応する2年次の英語科目をセット履修できます。

1年次の半期だけ落とした英語科目は、その分だけを履修することになりますが、2年次のものを履修するときは春、秋学期セットで履修しなければなりません。

この場合、クラス分け発表には含まれないので、2年次科目の履修は別途申告が必要となります。英語学習指導相談期間中に、所定の手続きを行ってください。

例1：

原級（1年生）に留まった者で、「英語リーディングⅠa」、「英語リーディングⅠb」のうち「Ⅰa」または「Ⅰb」が合格している者：

履修すべき科目：「英語リーディングⅠa」、「英語リーディングⅠb」の落とした方の科目。

履修してもよいもの：2年次対象の「英語リーディングⅡa、Ⅱb」のセット履修。

2年次対象科目の履修を強制するものではなく、履修するか否かは学生が選択できます（要申告）。

例2：

原級（1年生）に留まった者で、「英語コミュニケーションⅠa」、「英語コミュニケーションⅠb」のうち「Ⅰa」または「Ⅰb」が合格している者：

履修すべき科目：「英語コミュニケーションⅠa」、「英語コミュニケーションⅠb」の落とした方の科目。

履修してもよいもの：2年次対象の「英語コミュニケーションⅡa、Ⅱb」のセット履修。

2年次対象科目の履修を強制するものではなく、履修するか否かは学生が選択できます（要申告）。

例3：

原級（1年生）に留まった者で「英語リーディングⅠa」と「英語コミュニケーションⅠb」を落とした場合、それらの科目は必ず履修しなければなりません、2年次の「英語リーディングⅡa、Ⅱb」のセット履修、「英語コミュニケーションⅡa、Ⅱb」のセット履修は、本人の希望があれば履修可能で、履修しなくてもかまいません。

- ii. 第2学年に進級した者：1年次配当の未取得英語科目すべてと、2年次配当の英語科目を履修してください。

1年次英語が未取得科目となって再履修する場合、1年次秋学期末に受験した TOEIC IP の結果とは関係なく、1年次英語（初回履修登録時）と同じレベルを履修することになります。なお、2年次英語のクラスのレベルについては、1年次秋学期末に受験した TOEIC IP の結果に基づいて決定されます。

- iii. 原級（2年生）に留まった者：未取得英語科目をすべて履修してください。レベルは前年度の履修クラスと同じレベルが指定されます。

英語履修チャート

		必修科目 (H)								選択科目(S) : 1・2年生共通	
1 年次 英語	1 年入学時 TOEIC IP 試験									* 自主強化科目 (英語リスニングセミナー、英語リーディングセミナー、英語ディスカッション、英語ディベート、英語プレゼンテーション、英語アカデミックライティング) * 英語で行われる総合教育セミナー * 外国語教育研究センターの指定科目 * その他	
	リーディング・スコア				リスニング・スコア						
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
	リーディング I a, I b				コミュニケーション I a, I b						
	上 級	準上級	中 級	基 礎	上 級	準上級	中 級	基 礎			
2 年次 英語	1 年秋学期末 TOEIC IP 試験										
	リーディング・スコア				リスニング・スコア						
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
	リーディング II a, II b				コミュニケーション II a, II b						
	上 級	準上級	中 級	基 礎	上 級	準上級	中 級	基 礎			
3・4 年次 英語	選択科目(S) : 3・4年生共通										
	* 「外国語演習」 * 英語で行われる「関連課題研究／国際教養演習」 * 外国語教育研究センターの指定科目 * 国際センターの指定科目 * GPP 科目 * その他										

英語選択(自主強化科目)

担当者	春学期	秋学期	曜日時限
コイデ テレサ	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	火 3
吉田 友子	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	木 3
デサンモーリス グレグ	英語ディスカッション	英語ディベート	水 2
デサンモーリス グレグ	英語ディスカッション	英語ディベート	水 3
チェン アンドリュー	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	月 4
チェン アンドリュー	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	月 5

※各科目の授業計画については Web 上の「講義要綱・シラバス」を参照してください。

英語プレゼンテーション 2 単位 (春学期)

Presentations in English

春学期：火 3

コイデ, テレサ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Being comfortable speaking in front of a group is an important life skill that will help you in your personal, academic, and work life. This course will allow you to practice various styles of presentations in small groups and in front of the entire class. You will learn how to plan a well-organized presentation that flows smoothly from section to section. Special attention will be paid to developing your own unique style related to tone, gestures, facial expressions, voice projection, and eye contact. In addition, you will learn techniques for dealing with difficult questions.

成績評価方法：

Process Presentation - 15%
 Informative Presentation - 15%
 Poster Presentations. 15%
 Sales Pitch - 15%
 Career Presentation. 30%
 Final Exam. 10%

テキスト (教科書)：

No textbook is required. Handouts and PowerPoint Slides will be used.

参考書：

None

担当教員から履修者へのコメント：

Please bring a notebook and file/folder for handouts to class.

質問・相談：

Please contact the instructor at teresakoide@gmail.com or koide.tracy@yahoo.com

英語プレゼンテーション 2 単位 (春学期)

英語プレゼンテーション

春学期：木 3

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Being able to deliver an effective presentation is essential in today's world whether you choose to enter the field of business, education, or politics upon graduation. A powerful presentation can help you acquire new clients, improve relationships, or persuade your audience. Fortunately, presentation skills are easy and fun to learn and the more you present the better you will be. In this class, the instructor will share some tips on how to give an effective

presentation. Students will also have the opportunity to create and deliver four different presentations over the course of the semester. Students will also give and receive feedback on each other's presentations.

成績評価方法：

- 25% - Attendance
- 25% - Participation
- 25% - Four In-class Presentations
- 25% - Final Exam

テキスト（教科書）：

Will be distributed via Keio.jp as needed.

参考書：

Will be distributed via Keio.jp as needed.

担当教員から履修者へのコメント：

Delivering a presentation to an audience is a lot of fun once you get used to it. This class will provide you with numerous opportunities to create and deliver a presentation. There is no language requirement but I would like students who are willing to participate in class in English.

質問・相談：

Please feel free to ask me questions during or after class. You can also email me at: tomokoyoshida414@gmail.com

英語アカデミックライティング 2単位（秋学期）

English Academic Writing

秋学期：火 3

コイデ，テレサ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

One of the most important skills necessary for a successful academic career is the ability to write effectively. This course will give students the skills they need to confidently handle a variety of writing assignments ranging from a short response paragraph to a longer research paper. A workshop atmosphere will be utilized to allow students' writing to be read and critiqued by classmates. Homework assignments will encourage students to focus on their own individual weaknesses.

Good writing does not often happen in the first draft. Writing is a process and takes effort to improve. Students will often be asked to revise and resubmit assignments incorporating both instructor and peer feedback.

A major portion of this class will focus on planning and writing a persuasive research paper on a topic of each student's choice. Students will learn to follow APA formatting, use in-text citations, and generate a worthy reference list.

Special attention will be paid to

- 1) Ability to synthesize information from several sources
- 2) Organizational strategies
- 3) Improving grammatical range and accuracy with better sentence structure
- 4) Revising and editing skills

At the end of the course, each student will share their research with the class in a short presentation.

成績評価方法：

- Personal statement - 20%
- Research paper - 25%
- Final Exam. 25%
- Presentation. 10%
- Homework, quizzes, in-class assignments, participation- 20%

テキスト（教科書）：

No textbook is required. Handouts and PowerPoint will be used.

参考書：

Purdue Online Writing Lab

担当教員から履修者へのコメント：

Please bring a notebook and a folder/file to class to keep handouts organized.

質問・相談：

Please contact the instructor at teresakoide@gmail.com or koide.tracy@yahoo.com if you have questions or concerns.

英語アカデミックライティング 2単位（秋学期）

Academic Writing

秋学期：木3

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Writing skills are essential both in academia as well as in the business world. In academia, conducting impressive research is only the first step. Unless one can convey the results of a study in an articulate manner, it will not get published. Similarly, in the business world, creating an impressive product or business plan is only the first step. Unless one can write a convincing business report, one's accomplishments will remain unrecognized.

Students who will be studying abroad will quickly discover that writing skills are as important as presentation skills. Most classes at overseas universities will require weekly writing assignments in addition to an extensive paper at the end. For this reason, the TOEFL test includes a writing section.

In this class, students will practice writing different types of essays. Students will be required to read their assignments out loud in class and provide feedback to their classmates. Through these assignments, this class seeks to build on all four skills: reading, writing, speaking, and listening comprehension.

成績評価方法：

Attendance & Participation: 25%

Homework: 25%

Final Paper: 25%

Final Exam: 25%

テキスト（教科書）：

「アカデミックライティング入門」第2版。吉田友子 慶應義塾大学出版 2015年 ISBN-10: 4766422120

参考書：

Will be provided as needed.

担当教員から履修者へのコメント：

This should be an intense but fun class. Through completing many writing assignments, students should gain confidence about their writing skills upon completion of the class. If you are planning on studying abroad, this would be a good class to take.

質問・相談：

Please feel free to ask questions during or after class. You can also email me at: tomokoyoshida414@gmail.com

英語ディスカッション 2単位（春学期）

Critical media & social media literacy (discussion)

春学期：水2／水3

デサンモーリス, グレック

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course is designed to develop your communication skills and confidence while increasing your critical media literacy and awareness of contemporary media issues, particularly social media platforms. We will be using traditional and social media for educational purposes throughout the semester.

You are expected to attend every class on time and contribute to class discussion, respectfully engaging with your peers in thinking critically about course themes in terms of larger issues. This also means completing reading assignments and listening to your peers when they are talking. If you have to be absent, ask a classmate about class content, turn in your assignment, and be prepared for the next session as if you had been present. Cell phones must be OFF and out of sight. Disruptions caused by cell phones and texting will result in a decrease in your course participation grade.

Starting week 4, student groups will be leading discussion for 30 minutes. They must introduce a topic in the news of social, cultural, or economic import and ask questions that encourage discussion.

During weeks 8 through 12, students will give individual final presentations about social media.

成績評価方法：

*Spring semester **

Class Participation: 40%

You are expected to attend class and contribute to class discussion, respectfully engaging with your peers in thinking critically about course themes in terms of larger issues. You are responsible to coming to class and for

turning in assignments on time even when you miss a class. After two unexcused absences, every subsequent absence will result in a subtraction of five points from your total grade. Please be respectful of both our time and yours, and be punctual to classes and meetings. Excessive tardiness or failure to attend the class in its entirety will result in a reduction of points from your participation grade.

Homework assignments: 20%

In the spring semester, you will be assigned short informal presentations or roles as discussion leaders on specific days.

Final exam: 20%

Final presentation: 20%

*Fall semester debate assessment will focus on debate participation and completion of homework related to debates and assigned readings.

テキスト（教科書）：

Readings will be uploaded to keio.jp. You are responsible for reading the assigned texts before class.

担当教員から履修者へのコメント：

There are no prerequisite courses for this course. You will be successful in this course if you put in the effort to engage with the course materials and apply the knowledge and skills acquired in class when working on your assignments.

質問・相談：

I welcome questions via email at greg@keio.jp (and after class once the semester has started).

英語ディベート 2単位（秋学期）

Debating controversial issues

秋学期：水2／水3

デサンモーリス，グレッグ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Over the course of the fall semester, you will become more skilled at formal debate and will develop your oral communication skills as well. You will gain a better understanding of how to discuss controversial topics and feel more comfortable engaging in such discussions.

成績評価方法：

Fall semester

Class participation: 50%

You are expected to attend class and contribute to class discussion, respectfully engaging with your peers in thinking critically about course themes in terms of larger issues. You are responsible to coming to class and for turning in assignments on time even when you miss a class. After two unexcused absences, every subsequent absence will result in a subtraction of five points from your total grade. Please be respectful of both our time and yours, and be punctual to classes and meetings. Excessive tardiness or failure to attend the class in its entirety will result in a reduction of points from your participation grade.

Final debate performance: 30%

Final exam: 20%

テキスト（教科書）：

The texts we will be using will be distributed via keio.jp. You are responsible for reading all assigned material prior to class.

担当教員から履修者へのコメント：

Your success in this course will depend on the effort you put into it, not prior skills and knowledge. Some of the most successful students in this course have been students who began the course unsure about their ability to debate, but who were motivated to improve their communication skills.

質問・相談：

I welcome questions at greg@keio.jp (and after class as well, once the semester has started).

英語リスニングセミナー 2 単位 (春学期)

春学期：月 4 / 月 5

チェン, アンドリユー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Upon completion of the course, students will have developed vocabulary to enable them to read Economic and Business news/ magazine articles with more ease.

成績評価方法：

Students who achieve a score of 80 percent or higher on the weekly test will be given an A; those scoring 70 percent or higher, a B; those scoring 60 percent or higher, a C. And these will be reflected in the final grades. Those who fail to attend at least ten classes will be given a D. Absences due to new grad hiring events and processes, however, will not be counted negatively towards class attendance. All instances of academic dishonesty/ misconduct, including such behavior during class as private chatting, coming late, leaving class without permission, using mobile devices for personal communication, and napping or sleeping, will have a negative impact on the student's grade.

テキスト (教科書)：

Rosenberg, Marjorie. (2012). English for Banking & Finance. Pearson Education Limited. ISBN: 9781408269893
参考書：

Hinata, Kiyoto. (2017). English Grammar. Shuwa System. ISBN-13: 978-4798048154 Hinata, Kiyoto (2013). A Beginner's Guide to Business and Finance. Keio University Press. ISBN: 978-4766420197

担当教員から履修者へのコメント：

Level-wise, students are initially presumed to be at A2-B1 on the CEFR scale (described as a learner who has a limited but effective command of spoken English), and expected to reach B2 (described as a learner who has generally effective command of the spoken language) upon completion of the course. English will be the primary language used in class.

質問・相談：

Contact Andrew Chen at the email address below: andychen@keio.jp

英語リーディングセミナー 2 単位 (秋学期)

秋学期：月 4 / 月 5

チェン, アンドリユー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Upon completion of the course, students will have developed vocabulary to enable them to read Economic and Business news/ magazine articles with more ease.

成績評価方法：

Students who achieve a score of 80 percent or higher on the weekly test will be given an A; those scoring 70 percent or higher, a B; those scoring 60 percent or higher, a C. And these will be reflected in the final grades. Those who fail to attend at least ten classes will be given a D. Absences due to new grad hiring events and processes, however, will not be counted negatively towards class attendance. All instances of academic dishonesty/ misconduct, including such behavior during class as private chatting, coming late, leaving class without permission, using mobile devices for personal communication, and napping or sleeping, will have a negative impact on the student's grade.

テキスト (教科書)：

Rosenberg, Marjorie. (2012). English for Banking & Finance. Pearson Education Limited. ISBN: 9781408269893
参考書：

Hinata, Kiyoto. (2017). English Grammar. Shuwa System. ISBN-13: 978-4798048154 Hinata, Kiyoto (2013). A Beginner's Guide to Business and Finance. Keio University Press. ISBN: 978-4766420197

担当教員から履修者へのコメント：

Level-wise, students are initially presumed to be at A2-B1 on the CEFR scale (described as a learner who has a limited but effective command of spoken English), and expected to reach B2 (described as a learner who has generally effective command of the spoken language) upon completion of the course. English will be the primary language used in class.

質問・相談：

Contact Andrew Chen at the email address below: andychen@keio.jp

ドイツ語履修案内

第1学年

必修 [ドイツ語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb]

初めてドイツ語を学ぶ学生を対象としたクラスで、初級文法を1年間かけて学びます。目標は辞書を使ってある程度内容のあるドイツ語の文章を読めること、簡単な作文や基礎的な日常会話ができること。同一日本人教員による週2回の授業を、半期ずつ1年間セット履修します [クラス指定]。担当者によって使用する教科書は異なりますが、教科内容の統一、最低限の修得事項を確認するために、2年間を通して使用する『慶應義塾大学 商学部ドイツ語 副教材』をあわせて4月中に大学生協教科書販売所で購入してください。

全員がゼロからスタートするため、授業に毎回出席することが重要です。

成績評価は平常点に試験の成績を加味して決定されます。通常試験は小テストも含め、授業中に適宜行われます。担当者によって差異はありますが、学習進度に合わせて年間4～5回の定期試験があります。さらに年度末（秋学期末）の定期試験期間中には、1年生全クラス共通の一斉試験を実施します。

インテンシブクラス [ドイツ語インテンシブⅠa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb・Ⅲ]

(必修4単位、自主強化2単位)

インテンシブクラスは、ドイツ語を真剣に学びたいという学生のために設置されています。少人数で、実践的かつ総合的なドイツ語能力を習得することを目標とします。ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイスなど）の文化や社会、またドイツ系企業に興味のある学生、ドイツ語で将来コミュニケーションを図りたい学生はぜひ受講してください。

授業は、日本人教員とドイツ語を母語とする教員のふたりによる連携で、週3回（日本人2回・ネイティブ1回）、半期ずつ1年間セット履修します。1年次は通常クラスと同様、同一の日本人教員が週2コマを担当します。週3回とも一般の指定必修クラスとは別のクラスになります。履修申告は必修科目2コマ（インテンシブⅠa, Ⅰb, Ⅱa, Ⅱb）、自主強化科目1コマ（インテンシブⅢ）の組み合わせとなりますが、どちらかだけの履修は認められません。なお本クラスは2年生に持ち上がります（途中でのクラス変更は基本的に認められていません）。

少人数クラスでの実施を前提としているため、希望者が多い場合は選考を行います。詳しくは、学部ガイダンス（ドイツ語）の時の説明をよく聞いてください。

参加希望者は、ガイダンスの後、4月3日（金）10時までに、巻末の「ドイツ語インテンシブクラス申込書」を記入の上、日吉学生部内レポートボックスに提出し、4月3日（金）10時30分から面接を受けてください。

既習者の履修

なお、塾内進学者をはじめ国内外の高校等でドイツ語を学んだことのある学生は、相談のうえ履修するクラスを決定します。

第2学年

必修

第2学年では次のふたつのクラスで計4単位を履修することになります。

(1) 選択クラス [ドイツ語Ⅳa, Ⅳb]

ドイツ語を母語とするネイティブ・スピーカー教員による授業です。口語表現を中心にした授業内容で、初級文法を復習・定着させながら、ドイツ語で会話ができるようになることを目指します。週1回、半期ずつ1年間の履修となります。クラスごとに扱う教科書やテーマは異なりますが、学習内容と目標は同じです。各自時間割から都合の良い時限を選び、Webを使って第5希望までエントリーしてください。なお、本年度のWebエントリーは3月25日（水）10時から開始、締め切りは3月30日（月）16時45分までです。エントリー期間が短いので、特に注意すること。

(2) ドイツ語Ⅲa, Ⅲb（1年次の指定クラスと同じ）

日本人教員による授業。中級文法を習得しながら、読解力と表現力向上を目指します。週1回、半期ずつ1年間の履修です。

選択

必修のドイツ語クラス2コマのほかに、さらにドイツ語を学びたい人は、必修として履修した以外の「選択クラス」（ドイツ語Ⅲa, Ⅲb）（担当教員の許可が必要）、または外国語教育研究センター設置の授業などを、総合教育科目Ⅲ類として履修することができます。しかし原則として、これらのいずれも必修の単位に読みかえることはできません（ただし、中上級レベル以上とドイツ語部会で認定された学生は、外国語教育研究センター設置のオープン科目・特設科目の中から2コマ分を、ドイツ語部会の方了承を得たうえで必修の単位として履修できます）。

インテンシブクラス [ドイツ語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II]

(必修4単位、自主強化2単位)

原則として第1学年からの継続です。授業は週3回行われ、日本人教員が1コマ、ネイティブ・スピーカー教員が2コマ担当します。履修申告は必修科目2コマ（インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb）、自主強化科目1コマ（インテンシブⅥ-I, Ⅵ-II）の組み合わせとなりますが、どちらかだけの履修は認められません。

第3・4学年

インテンシブクラス〔外国語演習〕

三田ではネイティブ・スピーカー教員による「外国語演習」の授業が設置されています。原則として履修できるのはインテンシブクラスの学生ですが、担当教員が許可すればインテンシブクラス以外の学生でも履修できます。専攻科目Ⅳ類として履修します。

ドイツ語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

ドイツ語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

下記の表よりエントリーコードを選び必ず第5希望まで申告してください。

第5希望までエントリーのないもの・記載不備のものは、定員に満たないクラスに振り分けます。

エントリーコード	担当者	曜日・時限
101	シュミット, ウーテ	月 2
102	ハブラネック, エーリッヒ	月 2
103	ハブラネック, エーリッヒ	月 3
104	ブリール, リタ	水 1
105	ブリール, リタ	水 2
106	クリーク, ブリギッテ	水 3
107	フォーグル, ヴァルター	水 4

フランス語履修案内

I. フランス語履修の仕組み

1. 第1学年

標準コース（必修，週2コマ，計4単位）

フランス語 I a, I b・II a, II b「初級」〔週2コマ・指定クラス〕

初めてフランス語を学ぶ人が対象です。週2コマ、同一の日本人教師もしくはネイティブスピーカー教師が担当し、初級文法、発音、口語表現を学ぶ授業です。

フランス語 X a, X b・X II a, X II b「上級」〔週2コマ〕

帰国生を対象とし、面接により判定します。1・2年生の合同授業。フランス語の授業のみ所属クラスとは別の時間割によって受講してください。

インテンシブコース〔フランス語インテンシブ I a, I b・II a, II b・III a, III b〕

（必修2コマ4単位＋自主強化1コマ2単位，計6単位）

初めてフランス語を学ぶ人を対象として、少人数で、集中的に実践的なフランス語の習得をめざすコースです。

授業は週3コマ行われ、日本人教師が2コマ、ネイティブスピーカー教師が1コマ担当します。このコースを選択する人は、標準コースの指定クラス授業は履修せず、インテンシブコースの授業3コマ全部に出席してください。

将来のビジネス・研究・旅行のためにフランス語を話せるようになりたいと強く願っている人、在学中に実用フランス語技能検定（仏検）の受験をめざす人、さらに塾の交換留学制度でフランスへの留学を希望する人などを歓迎します。

少人数クラスのため定員があるので、希望者が多い場合には、選考により決定します。

希望者は巻末の「フランス語インテンシブコース申込書」を記入し、4月3日（金）10:00までに日吉学生部内レポートボックスに提出し、4月3日（金）の指定された時刻に面接を受けてください。発表は6日（月）の午前中です。

詳しくはフランス語ガイダンスのときに説明します。

2. 第2学年

標準コース（必修，週2コマ，計4単位）〔次頁Ⅱもあわせて熟読すること〕

フランス語Ⅲa, Ⅲb・Ⅳa, Ⅳb「中級」〔週2コマ：指定クラス1コマと選択クラス1コマ〕

「初級」を修了した人を対象とします。

フランス語Ⅹa, Ⅹb・ⅩⅡa, ⅩⅡb「上級」〔週2コマ：指定クラス2コマ〕

第1学年で「上級」を履修した人が対象です。1・2年生の合同授業。第2学年からの履修を希望する人は、フランス語担当教員に問い合わせてください。

インテンシブコース〔フランス語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II〕 （必修2コマ4単位＋自主強化1コマ2単位，計6単位）

授業は週3コマ行われ、日本人教師が1コマ、ネイティブスピーカー教師が2コマ担当します。会話をふくむ総合的なフランス語の習得をめざすコースです。

このコースを選択する人は、標準コースの授業ではなく、インテンシブコースの授業3コマ全部を履修します。

このコースを希望する人は、選抜試験を受けてください。詳細はフランス語担当教員に問い合わせてください。

自主強化

「中級」「インテンシブコース」を履修する人は、通常の授業2コマ（インテンシブコースでは3コマ）以外に自主強化科目として「中級」の授業を選択履修することができます。選択履修する授業の担当教員の許可を得たうえで、履修申告期間にB欄申告を行ってください。

Ⅱ. 第2学年の標準コースの授業内容と申告の方法

標準コースの2年生は以下の説明を熟読のうえ、間違いのないよう期限までに申告・手続きを行なってください。

1. 「フランス語Ⅲa, Ⅲb」、「フランス語Ⅳa, Ⅳb」の内容

2年生全員に週2コマの授業（「フランス語Ⅲa, Ⅲb」、「フランス語Ⅳa, Ⅳb」を各1コマ）が必修です。その内容は次の通りです。

●「フランス語Ⅲa, Ⅲb」（講読）

講読を中心に読解力を養成する授業。指定クラス

●「フランス語Ⅳa, Ⅳb」（演習）

作文・聴解・会話など、表現力・運用力を養成する授業。選択クラス（ただし「上級」は指定クラス）

従って、「中級」の履修者は2コマのうち1コマ（フランス語Ⅲa, Ⅲb）は指定クラス、1コマ（フランス語Ⅳa, Ⅳb）は選択クラスでの授業となります。「上級」の履修者は2コマとも指定クラスでの授業となります。

2. 「フランス語Ⅳa, b」（演習）の希望申告の仕方

- a. 後掲の「講義要綱」を参照のうえ、希望する授業を必ず第5希望まで申告してください。各授業のエントリーコードは次の表を参照のこと。

フランス語Ⅳa, Ⅳb クラス選択について

エントリーコード	担当者	曜日・時限
101	ギユモ, セレスト	月 4
102	ギユモ, セレスト	月 5
103	石川学	月 4
104	ローベル, ロラン	火 2
105	クレメール小椋, アレクサンドラ	木 1
106	クレメール小椋, アレクサンドラ	木 2
107	野崎夏生	木 1
108	野崎夏生	木 2
109	サンティヴ, ピエール	木 2
110	サンティヴ, ピエール	木 3

- b. 希望申告（エントリー）する際「商学部第2学年授業時間割」により、必修科目と時間割上の重複がないよう、充分配慮してください（少なくとも、第2希望までは絶対に重複させないこと）。

- c. クラスの振り分け作業では第1希望を優先しますが、各授業には定員があるため（会話クラスは20名、その他は25名程度）、定員超過の時は、第2希望～第5希望に振り分けられることもあります。
- d. エントリー期限 3月25日（水）10：00～30日（月）16：45まで
- e. エントリー方法 Webでのエントリー
- f. 結果発表 4月2日（木）午前、Webエントリーシステム
- g. 授業開始 4月7日（火）
- h. 注意事項
 - 1. 「エントリー」に際しては、注意書きをよく読み、漏れのないようにすること。
 - 2. 第5希望までの申告がないもの・エントリーの不備・未提出等のものは無効とし、定員に満たない授業に振り分けます（この場合、他の必修科目と重複し、今年度「フランス語Ⅳ」（演習）を履修できないこともあるので、特に注意すること）。
 - 3. 希望申告（エントリー）締切り後の変更は認められませんので、申告に際しては充分に注意すること。
 - 4. 全体の履修申告は、この手続きとは別に必ず行うこと。

中級・フランス語Ⅳ a, Ⅳ b (演習)

※各科目の授業計画については Web 上の「講義要綱・シラバス」を参照してください。

フランス語Ⅳ a 1 単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1 単位 (秋学期)

フランス語コミュニケーション演習

春学期・秋学期：月 4

セット履修

石川 学

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランスの FLE (外国語としてのフランス語) 専門の出版社が刊行している教科書を用いながら、日常生活で頻繁に使われる会話表現に熟達していくことを目指します。会話練習と様々なアクティビティへの参加を主要内容とした演習形式の授業です。

成績評価方法：

平常点 (出席状況および予習・復習への対応、授業参加度による評価)：30%

課題への対応による評価：10%

試験による評価：60%

テキスト (教科書)：

Claire Miquel, *Communication Progressive du Français - Débutant/A1*, 2^e édition, CLE International, 2018.

ISBN: 978-209-038445-1

参考書：

仏和辞典と、初等文法を習ったときの教科書を使用してください。

担当教員から履修者へのコメント：

授業の予習・復習は必須です。会話練習とアクティビティには積極的に参加してください。難易度としては、一年生のときに学習した内容の復習から出発し、発展的な内容に進んでいくイメージです。進度以上に、丁寧さを重視します。

質問・相談：

授業の前後を中心に、適宜受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1 単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1 単位 (秋学期)

日常生活のフランス語

春学期・秋学期：月 4

セット履修

ギユモ, セレスト

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、今までのフランス語の授業によって学んできた文法や語彙を応用・復習し、その理解を深めながら、様々な授業内活動を通じて言語知識を発展させ、活かしていきます。具体的には、毎週フランスの日常生活の様々なシチュエーションをテーマにして授業を行います。その際に、文法を復習しながら、新しい語彙と役に立つ表現を身につけ、ロールプレイやインタビュー等の授業内活動によってそれらの使い方を練習します。基本的に、4 技能をバランス良く習得できるフランス語の授業を目指しますので、聞き取り・発話だけでなく、読み書きの練習も行います。また、正しい発音はフランス語話者との効果的なコミュニケーションに必要不可欠であるため、毎週フランス語の子音・母音やリズム等の音声的特徴の説明・練習をします。春学期は、(1) 自分について話す、(2) お店での会話について学びます。秋学期は、(3) お店での会話の続き、(4) 場所・物について説明する、(5) 相手との交渉について学びます。

成績評価方法：

授業内試験の結果による評価 50% 平常点 (課題、グループワーク、授業参加・態度等の評価) 50% 3 回以上の欠席は認めません。

テキスト (教科書)：

Claire Miquel (2018) *Communication progressive du français avec 320 exercices - Niveau débutant (A1) 2e édition*, CLE International. (ISBN : 9782090384451)

参考書：

Lucile Charliac, Jean-Thierry Le Bougnec, Bernard Lorell, Annie-Clause Motron (2018) *Phonétique Progressive du Français - Niveau débutant - 2e édition*, CLE International. (ISBN : 9782090384550) Gaël Crépieux, Lucie Mensdorff-Pouilly, Caroline Sperandio (2016) *Vocabulaire essentiel du français niv. A2, 100% FLE*, Les éditions Didier. (ISBN : 9782278083404)

担当教員から履修者へのコメント：

積極的な学生参加を求めます。また、毎週授業に来る前に予習・復習をする必要があります。

質問・相談：

講義の前後、またはメールにて随時受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

職場でのフランス語

春学期・秋学期：月5

セット履修

ギユモ，セレスト

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、今までのフランス語の授業によって学んできた文法や語彙を応用・復習し、その理解を深めながら、様々な授業内活動を通じて言語知識を発展させ、活かしていきます。具体的には、毎週フランスの日常生活と職場での様々なシチュエーションをテーマにして授業を行います。その際に、文法を復習しながら、新しい語彙と役に立つ表現を身につけ、ロールプレイやインタビュー等の授業内活動によってそれらの使い方の練習をします。基本的に、4技能をバランス良く習得できるフランス語の授業を目指しますので、聞き取り・産出だけではなく、読み書きの練習も行います。また、正しい発音はフランス語話者との効果的なコミュニケーションに必要不可欠であるため、毎週フランス語の子音・母音やリズム等の音声的特徴の説明・練習をします。春学期は、(1) 自分について話す、(2) 相手との交渉について学びます。秋学期は、(3) 相手との交渉の続き、(4) 職場でのフランス語。

成績評価方法：

授業内試験の結果による評価 50%平常点（課題、グループワーク、授業参加・態度等の評価）50% 3回以上の欠席は認めません。

テキスト（教科書）：

Claire Miquel (2018) Communication progressive du français avec 320 exercices -Niveau débutant (A1) 2e édition, CLE International. (ISBN : 9782090384451)

参考書：

Lucile Charliac, Jean-Thierry Le Bougnec, Bernard Lorell, Annie-Clause Motron (2018) Phonétique Progressive du Français -Niveau débutant- 2e édition, CLE International. (ISBN : 9782090384550)

Gaël Crépieux, Lucie Mensdorff-Pouilly, Caroline Sperandio (2016) Vocabulaire essentiel du français niv. A2, 100% FLE, Les éditions Didier. (ISBN : 9782278083404)

担当教員から履修者へのコメント：

積極的な学生参加を求めます。また、毎週授業に来る前に予習・復習をする必要があります。

質問・相談：

講義の前後、またはメールにて随時受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

フランス語でコミュニケーション

春学期・秋学期：木1

セット履修

クレメール 小椋，アレクサンドラ J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、話す・聞く・書く・読む、全てのスキルの向上を目指します。教科書は基本的な文法のポイントを抑えた上で、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。少グループでフランス語を練習することで、言語能力にさらに自信を持たせることに役立ちます。

成績評価方法：

授業中の参加/課題、会話テスト、期末試験

テキスト（教科書）：

SUDRE, Florence Yoko. SENES, Sylvie Keiko. KATO, Toyoko. NAKAGAWA, Takayuki. YANAGISHIMA, Shu. (2020). Café Français 2. ed. Asahi. ISBN : 978-4-255-35310-4

担当教員から履修者へのコメント：

今まで学習したフランス語を使える良い機会だと思ってください。
 スキルを最大限のばすために、出席と積極的な授業参加は必須事項です。
 辞書または語彙集を強くお勧めします。
 3回以上の欠席は認めません。

質問・相談：

授業内

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

フランス語で理解と表現

春学期・秋学期：木2

セット履修

クレメール 小椋, アレクサンドラ J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業の目的はコミュニケーション能力を伸ばすことです。特に、話す・聞くに焦点をあわせて向上させます。教科書のアクティビティで聞き取りと口頭練習ができます。また、新しい文型と語彙もたくさん学ぶことができます。少グループでフランス語を練習することで、言語能力にさらに自信を持たせることに役立ちます。もちろん、文法も学びます。また、教科書の中に書く・読むのアクティビティも、たくさんあります。

成績評価方法：

授業中の参加/課題、会話テスト、期末試験

テキスト（教科書）：

Matsumura, Hiroshi, Van Drom, Eddy (2017). Croissant 2. éditions ASAHI ISBN: 978-4-255-35277-0

担当教員から履修者へのコメント：

今まで学習したフランス語を使える良い機会だと思ってください。
 スキルを最大限のばすために、出席と積極的な授業参加は必須事項です。
 辞書または語彙集を強くお勧めします。
 3回以上の欠席は認めません。

質問・相談：

授業内

フランス語Ⅳ a 1単位（春学期）

フランス語Ⅳ b 1単位（秋学期）

コミュニケーションをしながら文法を学ぶ

春学期・秋学期：木2

セット履修

サンティヴ, ピエール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

一年程度の学習歴のある学習者向けの授業です。シンプルかつ段階的な練習問題を学習の基本に据えているので、学習者は習ったことをすぐに使えるようになります。基礎力を固めるため、コミュニケーション、新しい文型、ボキャブラリーのための色んなアクティビティを学習します。中級レベルの教科書を使います。

成績評価方法：

テストの結果、また授業態度による評価。

テキスト（教科書）：

フランス語の方法2 (méthode de français 2) Vincent Durrenberger, Loïc Rogués, Romain Bocquillon, 駿河台出版社, 2017年. ISBN978-4-411-01122-0 C1085

担当教員から履修者へのコメント：

会話が中心の授業ですので、積極的に話す意欲をもつ学生を歓迎します。出席は重要です。

質問・相談：

授業の前と後に受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

シチュエーションで学ぶフランス語

春学期・秋学期：木2

セット履修

サンティヴ, ピエール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

さまざまな日常生活の場面で対話を通して、フランス語でコミュニケーションができることを目指す。フランス語が苦手な方向けに、復習をしながらフランス語の語学力を身につけて行く授業です。レベルは初級です。

成績評価方法：

テストの結果、また授業態度による評価。

テキスト（教科書）：

ワークブック付 場面で学ぶフランス語1 [三訂版] EN SCENE I Troisième édition 高橋百代著 / Nicolas JEGONDAY 著/ 林宏和著 / Cédric YAHYAOUÏ 著 Sanshusha 三修社 大学教科書 2018年 ISBN978-4-384-22055-1 C1085

担当教員から履修者へのコメント：

会話が中心の授業ですので、積極的に話す意欲をもつ学生を歓迎します。出席は重要です

質問・相談：

授業の前と後に受け付けます。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

フランス語の会話力向上

春学期・秋学期：木1 / 木2

セット履修

野崎 夏生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初級で学んだ文法を会話で話す能力を高め、さらに発展させることを目的とします。この授業では会話力を向上させるために、学んできた基本的な文法をもとに、様々なアクティビティを通じて、やり取りが豊かに発展するよう指導します。例えば自分のことや、家族・友人のこと、好きなこと、これからしたいこと等について話し、さらに簡単な意見を主張できるようになることを目指します。

成績評価方法：

授業内試験及び平常点（出席状況及び授業態度）により評価します。

テキスト（教科書）：

Cocton, Marie-Noëlle. (2019) .L'Atelier, méthode de français A1. Didier Français Langue Etrangère.

ISBN:978-2-278-09228-4

参考書：

特に指定しません。

フランス語Ⅳ a 1単位 (春学期)

フランス語Ⅳ b 1単位 (秋学期)

ロールプレイやグループ発表を通じて様々なシチュエーションにおいてフランス語を話す

春学期・秋学期：火2

セット履修

ローベル, ロラン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

1. 基礎フランス語を復習する
2. 様々なシチュエーションにおける会話を通じて具体的にフランス語を学ぶ
3. 中級レベルの基礎を身につける
4. フランス文化の知識を深める

到達目標

仏検3級以上の筆記能力と準二級以上の会話能力を身につけること

成績評価方法：

出席度 25%

会話発表とグループ発表 25%
課題提出など 25%
語彙・表現小テスト 25%

中国語履修案内

第1学年

◆レギュラークラス【必修中国語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb各2単位】

- クラス：必修中国語は週2コマあり、クラスと時間割は指定されます。必修科目の履修方法にしたがって履修申告をしてください。

◆インテンシブクラス【必修中国語+選択計6単位】

実践的な中国語の習得を目的として開設された週3回の選択必修コースで、週2回を日本人教員が、1回をネイティブ教員が担当します。このコースを履修する学生は、入学時に指定された【中国語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb】の授業を履修しません。

話せるようになることを最大の目標として、授業中の発音指導、会話練習にウェイトをおきます。大学在学中に中国語をマスターして、専門分野や社会において中国語を武器にして活躍したい学生の履修を歓迎します。定員があるので、定員を超えた場合は選考により決定します。

履修申告は必修科目2コマ、自主強化科目1コマの組み合わせとなりますが、3コマとも履修しなければなりません。詳しくは、学部ガイダンスの時に説明します。

(希望者は4月3日(金)10時までに巻末の「中国語インテンシブクラス申込用紙」を記入し、日吉学生部内レポートボックスに提出してください。発表は6日(月)の午前中に行います。)

※中国語の初級レベルを大幅に上回り、かつ中級以上の授業を強く希望する場合は、中国語の審査と学習指導の承認を経た上での別クラス選択の可能性もありますので、4月3日(金)10時までに日吉学生部商学部窓口に応じ出してください。

第2学年

◆レギュラークラス

第2学年の必修中国語は【中国語Ⅲa, Ⅲb】と【中国語Ⅳa, Ⅳb】に分れますが、両方の単位を取得しなければなりません。

■【中国語Ⅳa, Ⅳb】2単位

- クラス：【中国語Ⅳa, Ⅳb】は少人数クラスでの会話力養成を目指すものです。

本年度は計18クラス設置しています。履修者全員が指定されたクラスを履修することになります。掲示で自分の所属クラス、曜日、時限を確認し、指定された教科書を購入した上で授業に臨んでください。

◆インテンシブクラス【中国語必修+選択6単位】

第1学年時のインテンシブクラスに接続する選択必修コースで、履修者は週3回とも授業に出席してください。前年度に引き続き会話能力の向上を目指した授業を行います。原則として第1学年でインテンシブクラスを履修した学生を対象とします。第2学年から新たにこのクラスを希望する学生は、担当教員との相談の上で履修することができます。

履修申告は必修科目2コマ、自主強化1コマの組み合わせとなりますが、3コマとも履修しなければなりません。

スペイン語履修案内

第1学年

必修【スペイン語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb】計4単位

- クラス：第1学年のスペイン語は下記の週2コマです。指定されたクラスで履修してください。
 - (1) スペイン語Ⅰa, Ⅰb：スペイン語初級文法を習得しながら、読解力と表現力を身につけます。
 - (2) スペイン語Ⅱa, Ⅱb：スペイン語Ⅰa, Ⅰbと連携しながら、ネイティブ教員と会話力の向上を目指します。
- 教科書：生協の教科書販売所で指定された教科書『イメージ・スペイン語』を購入してください。
- 一斉テスト：春・秋 各学期末の定期試験期間中に、両科目の一斉テストを実施します。

【スペイン語インテンシブⅠa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb・Ⅲa, Ⅲb】計6単位

(必修4単位、自主強化2単位)

スペイン語のエキスパートを目指す意欲ある学生は、普通コースの代わりに、インテンシブクラスを選択することができます。この授業ではスペイン語の初心者を対象に、少人数で実践的なスペイン語の習得を目指します。日本人教員(週2コマ)が文法中心の授業を行い、それと連携してネイティブ教員(週1コマ)による会話の授業を実施します。履修申告は必修科目2コマ、自主強化科目1コマの組み合わせとなります。どちらかだけの履修は認められません。内容に関する詳細は「外国語説明会(スペイン語)」で説明しますので、希望者は必ずこれに出席してください。

「エントリーシート」(申込書)は、巻末にあります。提出締切は、4月3日(金)10時(日吉学生部内レポートボックス)です。申込者は、4月3日(金)午前10時30分からの面接に必ず出てください。

第2学年

必修【スペイン語Ⅲa, Ⅲb・Ⅳa, Ⅳb】計4単位

- クラス：第2学年のスペイン語は下記の週2コマです。
 - (1) スペイン語Ⅲa, Ⅲb(第1学年と同じ指定クラス)：スペイン語中級文法を習得しながら、読解力と表現力の向上を目指します。
 - (2) スペイン語Ⅳa, Ⅳb(指定クラス)：スペイン語Ⅲa, Ⅲbと連携しながら、ネイティブ教員と会話力の向上を目指します。
- 教科書：生協の教科書販売所で指定された教科書『Muy bien 2』を購入してください。

【スペイン語インテンシブⅣa, Ⅳb・Ⅴa, Ⅴb・Ⅵ-I, Ⅵ-II】計6単位
(必修4単位、自主強化2単位)

第1学年でインテンシブ・コースを履修した学生と第2学年からの編入を許可された学生は、インテンシブクラス計3コマを履修します。日本人教員(週1コマ)が文法中心の授業を行い、それと連携してネイティブ教員(週2コマ)による口語表現の授業を実施します。履修申告は必修科目2コマ、自主強化科目1コマの組み合わせとなります。どちらかだけの履修は認められません。教科書などはWeb上の「講義要綱・シラバス」の「スペイン語インテンシブ講義要綱」を参照してください。

商 学 部

総合教育セミナー履修案内

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気になじくなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士の交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論が展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。また仮登録が必要な科目でもありません。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ず第1週目にある初回の授業に出席してください。出席しない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーは、①担当者が異なる場合、または②同担当者でもサブタイトルが異なり、かつ担当者の許可(※)を得ている場合には同名科目であっても履修が認められます。

※日吉学生部商学部窓口で「重複履修許可申請書」を受け取り、担当者の許可を得たうえ、学生部へ提出すること。

総合教育セミナーDa (I 類) 2 単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (I 類) 2 単位 (秋学期)

最先端の研究の情報に触れてみよう

セット履修

木島 伸彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本講義では、インターネットで手軽に手に入る専門家向けの情報のうち、PubMed に注目して、PubMed を自由に使いこなせるようになり、医学あるいは心理学に関する専門的情報を集めて自分なりの判断ができるようになることを目的とします。

現在、情報はとても手軽に入手できる時代になりましたが、その情報には真実から遠いものも少なくありません。更に困ったことに、教科書、新聞、政府の情報等権威づけられているものが常に正しいとは限りません。我々現代人は、巷に過剰に溢れる情報におぼれることの無いよう、「正しい」情報を取捨選択して、自分なりの判断の材料としなければなりません。

例えば、病気になった場合、全てを医師に委ねますか？それとも、賢明にも自分で少しでも調べてみますか？でも、どうやって調べたらいいのでしょうか。表現の自由が保障されている書籍には、間違いや「昔は正しいと思っていたけど、今は否定されたもの」や明らかな嘘まで含まれています。ノーベル賞を取った権威ある治療法でさえ、後年、否定されたものさえあります。つまり、書籍も重要ですが、十分ではないということです。

そこで、PubMed を利用してみましょう。PubMed は、インターネットを使える環境にあれば、誰でも無料で利用できます。PubMed は、Public Medicine の略で、全ての人のためのものです。基本的に医学に関するものですが、心理学に関する研究も載っています。早速、自分の興味のあることを調べてみましょう。医学、心理学以外の専門知識の情報を調べる良い練習になります。

成績評価方法：

出席状態と最終的な成果で評価します。

テキスト（教科書）：

なし

参考書：

古川壽亮 (2010) エビデンス精神医療—EBP の基礎から臨床まで 医学書院

担当教員から履修者へのコメント：

PubMed は医学情報を得る際の非常に便利なツールですが、全て英語で書かれています。従って、授業では英語が読めるという前提で進めます。また、授業時間外に自分で調べる時間も多くなり、負担もあります。積極的に学ぶ意欲のある学生を歓迎します。

なお、参考文献で紹介している文献は、大学院生以上のレベル向けの本です。購入する必要はありませんが、極めて

素晴らしい本なので紹介しておきます。

総合教育セミナーDa (I 類) 2 単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (I 類) 2 単位 (秋学期)

数理ファイナンスの門前

セット履修

高橋 弘

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この科目では、数理ファイナンスに関する学習をセミナー形式で進めます。教科書の指定された箇所を予習し、授業では理解した内容を皆さんの前で発表してもらいます。また、聞いている皆さんも、ただ聞くだけではなく、発表者への質問などを通じて、その箇所を理解するように積極的にセミナーに参加してもらいます。このやり方を毎回繰り返します。セミナーの準備は、かなりの時間がとられることになるかと思いますが、事前準備で理解した内容をあらかじめ発表することで、理解がさらに深まることが期待されます。高校の時数学が好きだったという人に履修してもらえればと考えます。

成績評価方法：

欠席する毎に減点します。出席状況、学習態度、発表内容などに基づいて総合的に評定します。

テキスト (教科書)：

講義中に説明します。

参考書：

講義中に説明します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

自分の割り当てられた役割に対して最後まで責任を持ち、グループで協力して取り組む姿勢を期待します。不明な点は放置せず、授業中等に質問して解決する努力をして下さい。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

講義中に受け付けます。

総合教育セミナーDa (I 類) 2 単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (I 類) 2 単位 (秋学期)

物理学輪講

セット履修

新田 宗土

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

物理学の扱う対象は人間の関与しない現象、いわゆる自然現象のみだと思っている人がほとんどであろう。物理学が自然科学の一分野だからである。ところが近年、物理学の手法を用いて様々な人文社会現象も扱えるようになってきている。社会物理学や経済物理学がそれにあたる。

本セミナーでは、物理学のどのテーマでも良いが、一例として、このテーマから教科書を選んで学生による輪講を行う。

成績評価方法：

セミナーなので、毎回出席することを前提としますので、欠席すると授業は成り立ちません。評価ポイントは

- (1) 担当時にいかにしっかり予習してきたか。
- (2) 発表はわかりやすく説明できているか。
- (3) 担当の時以外も、積極的に参加をし、質問をしているかです。

テキスト (教科書)：

以下は教科書の一例です。教科書は参加者と話し合って決めます。

「経済物理学の発見」 高安秀樹著 光文社新書 2004年 ISBN-10: 4334032672 ISBN-13: 978-4334032678

担当教員から履修者へのコメント：

この授業は物理学の知識は仮定しませんが、最低限、高校の理系の数学か大学の微積分の知識を仮定します。また、十分やる気がある準備をしてくることを前提としています。

質問・相談：

発表者の質問は、授業が始まる前にしてください。授業中は全員毎回、発表者に質問をしてください。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)

相対性理論

セット履修

新田 宗土

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

アインシュタインが発見した相対性理論は、それまでの時間と空間の概念を根底から覆しました。そこでは、時間と空間は一体となった時空として理解できます。果たして時間旅行（タイムマシーン）や瞬間移動（スペースワープ）は可能なののでしょうか？そして、宇宙旅行に関する双子のパラドックスなど様々なパラドックスが存在します。これらのパラドックスを、皆さんが力を合わせて解いて行きます。最終的には、皆さんにオリジナルの新しいパラドックスを見つけてもらいます。

成績評価方法：

セミナーなので、毎回出席することを前提としますので、欠席は減点です。評価ポイントは

- (1) 担当時にいかにしっかり予習してきたか。
- (2) 発表はわかりやすく説明できているか。
- (3) 担当の時以外も、積極的に参加をし、質問をしているかです。

テキスト（教科書）：

『数式いらず！見える相対性理論』竹内 建著 岩波書店 ASIN:4000055291

絶版のようなのでアマゾンなどで購入して下さい。

担当教員から履修者へのコメント：

相対性理論は、頭を柔らかくして常識を捨てることさえ出来れば、文系学生にも理解できないような難しいものではありません。しかし、やる気と興味がなければ、到底理解することは不可能です。逆に言うと、自分は頭がよくないと思っても、やる気と興味さえあれば、なんとでもなりますので、心配ありません。ゆっくりと時間をかければ、必ず理解できるものです。特にこの教科書は数式を使わずに、文系学生が完全に理解できるように工夫されています。

質問・相談：

発表者の質問は、授業が始まる前にしてください。授業中は全員毎回、発表者に質問をしてください。時間外も質問・相談に応じます。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)

バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る

セット履修

福澤 利彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

バイオテクノロジーは日進月歩で発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスも出現している。このセミナーでは、広範なバイオに関する話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・考察を行い、その結果をパワーポイントによって発表してもらう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。

成績評価方法：

出席、プレゼンテーション、およびレポートを総合して評価する。

テキスト（教科書）：

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

参考書：

授業時に紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

初回の授業に出席すること。履修希望者多数の場合には、(1) 商学部優先、(2) 2年生優先という基準で履修者数を制限する。それでも履修者数が多い場合には、レポートを提出してもらい、履修者を選考する。積極的に学ぶ意欲のある学生を歓迎する。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付ける。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

Cosmology for the Curious

セット履修

フラキ, アントニノ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

宇宙論とは、宇宙の起源と進化についての説明を試みる物理学の一分野である。科目としては、宇宙論は人類の歴史と同じだけ古いものであるが、この50年間でかつてないほどの発展を遂げ、その頂点として2015年史上初のブラックホールが観測され、アインシュタインの一般相対性理論を裏付けた。今日の我々は、かなり精確なレベルで宇宙のことがわかっていて初めての世代だと言っている。しかし、宇宙の根本的な性質に関する疑問は、その数多くが未解明のまま。このゼミクラスでは、現代宇宙論の研究に焦点をあて、2部構成で講義を行う。

第1部では、すでに研究がよくなされているビッグバンモデルや宇宙論の基本的なモデルを扱い、このアプローチを用いた宇宙論に焦点をおく。この第1部が、ビッグバン理論では説明しきれない宇宙の性質を扱う第2部への序奏となる。

第2部では、次のようなエキサイティングなトピックへと掘り下げていく。

・インフレーション宇宙論・暗黒物質と暗黒エネルギーの問題・多元宇宙論（宇宙が複数あるとする理論）・「時間」の始まりと宇宙の未来予想図

成績評価方法：

成績は、出席と授業への参加の度合いの総合点で評価します。

テキスト（教科書）：

Perlov D. and Vilenkin A. (2017). Cosmology for the Curious. Springer. ISBN: 3319570382

参考書：

講義で使用する教材は、講義にて配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

このゼミでは非理系専攻の学生を想定し、物理や数学のバックグラウンドを全く持たない学生に適した、初歩的な算数を超えない程度の物理学入門レベルの講義を行う。授業は全て英語で行ないますので、受講者は英語を話し、英語を使って授業に参加することが求められます。出席は必須です。

総合教育セミナーDa (I類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナーDb (I類) 2単位 (秋学期)**

人生を科学する

セット履修

松浦 壮

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、自分の人生という最も身近なテーマをターゲットに据え、将来にわたる武器の1つとして「科学の方法」を習得する場を提供します。

科学と言うと自然科学を想像しがちですが、科学は本来、出来る限り信頼出来る結論を導くために生み出された方法論のひとつで、その対象は多岐にわたります。事実、いわゆる「文系」に区分される学問の多くも「人文科学」と呼ばれる科学の一分野です。そのため、巷でよく言われる文系／理系の区別には何の意味もありません。専門分野に関係なく、総合的かつ合理的な結論を導き、それを自らの血肉にする能力を持つことこそが大切なのであり、科学はその中核をなす方法論と考えるのが良いでしょう。

その一方で、自然科学が科学の方法論を学ぶための良い教科書になるのもまた確かです。自然科学では仮定と推論が特に密に連携し、体系がコンパクトだからです。自然科学を学ぶことで、より複雑な対象を系統的に理解するための道筋を得る事が出来ます。テスラモーターズの創始者であるイーロン・マスク氏が、自らの事業に繋がった教育として物理学を挙げ、「考えるための素晴らしいフレームワーク」と呼んだのも当然のことでしょう。

そこで本セミナーでは、春学期を準備期間と位置づけ、「相対性理論」を題材に科学の考え方を学びます。「速く動く物体の上では時間がゆっくり進む」という予言に代表されるように、相対性理論には日常の直感が通用しません。ですが、相対性理論は非常に単純で美しい体系です。一見不思議に感じる予言もまた、自然な仮定の上に論理的な推論を積み重ねて得られる素直な結論であると同時に、観測事実でもあります。直感に頼らない議論から正しい結論に到達する経験を積むには、私の知る限り最適の題材です。

それを経た後、秋学期には、自らの人生を科学的に分析します。一例ですが、卒業後の進路を多角的に分析し、それに基づいた人生設計をまとめる、といったようなテーマを想定しています。情報を収集し、疑問点を洗い出し、必要な統計を取り、出来る限りニュートラルな立場から意味のある結果を導くことが要求されます。一般に、就職活動が間に迫るまでは中々真面目に考える機会のない「自らの人生」にじっくり向き合う時間になればと考えています。

本セミナーは、必要に応じて前提となる知識を補足するための講義をすることもあります。基本的に発表と議論で構成されます。毎回の講義で、次の講義までに調べるべきテーマを提示しますので、発表担当のグループはそのテーマについて調べ、講義で発表していただき、その内容を全員で議論し、次に理解するべきテーマを提示していただきます。

理解に完璧という事はありません。議論が適度に脇道に逸れることもまた重要です。議論を通じてお互いにフィードバックを与え合うことで、理解が次第にブラッシュアップされていく経験を積んでいただければと考えています。

また、各学期の最後には、学んだ内容をレポートにまとめ、その内容を発表してもらうことを考えています。レポー

トのまとめ方やプレゼンテーションの技術を学ぶ場としても活用していただければと思います。

成績評価方法：

発表内容と議論への参加状況、及び、レポートとプレゼンテーションの内容で評価します。

テキスト（教科書）：

必要に応じて紹介します

参考書：

「宇宙を動かす力は何か」 松浦社著 新潮社 ISBN: 978-4106106439

「時間とはなんだろう 最新物理学で探る「時」の正体」 松浦社著 講談社 ISBN-13: 978-4065020319

『アビリティ物理 量子論と相対論』 飯島徹穂, 佐々木隆幸, 青山隆司 共立出版 ISBN:978-4320034204

担当教員から履修者へのコメント：

予備知識は仮定しませんが、調べた内容を人前で説明するためには、発表の時には自分の言葉で説明出来る程度の知識を持っている必要があります。分からない部分を分かるところまでさかのぼって調べる姿勢が必要になるでしょう。

安直で表面的な知識だけに満足せず、物事の本質を理解したいという熱意を持った方を歓迎します。

議論を通じた学びを一緒に楽しみましょう。

質問・相談：

授業中の質問は歓迎します。相談は授業終了後に受け付けます。授業以外の時間でも、居室（200A）に直接来ていただければ（時間の許す限り）質問・相談を受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅰ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅰ類）2単位（秋学期）

Applied mathematics

セット履修

丸山 芳人

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

データ解析を行う上で必要となる基本的事項と統計的考察のうち、記述統計学と呼ばれる分野を中心に、平易な英語で書かれた本を輪読しながら学習します。毎回当番を決め、発表者には指示された箇所を読んでその内容を参加者に分かる様に説明し、質問に答えられる様にして貰います。プレゼンテーション能力や自分で考える力を身に付けると共に、扱う題材についての理解を深めます。

成績評価方法：

欠席する毎に減点します。出席状況、学習態度、発表内容などに基づいて総合的に評定します。通年科目と見做して開講する為、半期のみ単位を取得することは出来ません。

テキスト（教科書）：

授業中に資料を配布します。

参考書：

『日本統計学会公式認定統計検定3級対応データの分析』（日本統計学会 編） 東京図書

『社会調査入門 量的調査と質的調査の活用』（Keith F. Punch 著, 川合隆男 監訳） 慶應義塾大学出版会

その他、必要に応じて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者は必ず初回（第1週目）の授業に出席し、登録カードを提出して下さい。高校数学にて資料の整理を学び、統計学基礎・統計学を履修する前の学習内容である為、新1年生を受講対象とします。2年生以上が受講を希望する場合は事情聴取します。尚、少人数セミナー故、履修許可者を例年4～6名程度としています。

極僅かではあるがExcelを用いたデータ解析の例を挙げます。理論だけでは空論に成り兼ねず、データを扱うことは重要です。しかし、計算機を利用したシミュレーションに主眼を置いた授業ではありません。数学に興味を持ち、「数が苦」ではなく「数楽」と思える履修者を歓迎します。

※本セミナーは商学部数理科学プログラム認定科目です。

質問・相談：

授業時間内に受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

隠されたメッセージ／イメージの層

セット履修

足立 典子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

瞬時にして手に入れることのできる膨大な情報に囲まれて、本当は欲しくもないものに執着してしまったり、根拠のない不安にかられたりすることはありませんか？

映画やドラマなどの物語を通して、あるいは報道や広告の形で私たちが魅了しようとするイメージの数々は必ず相矛盾する幾つかの層を併せ持っています。例えば主人公より人気の出てしまう悪役キャラ、孤独を謳歌しながら一体感を演出するコンサート、発信された途端に大量複製される挑発的なファッション。溢れかえる情報の総体から、私たちは

日々どのようなメッセージを受け取っているのでしょうか？

このセミナーでは、普段何気なく接している映像やパフォーマンス、SNS に登場する言説などの分析を通して、そこに隠されたメッセージの重層性について考えてみたいと思います。私たちが殆ど気付かぬうちに私たちを規定している感情の力、日常に潜む政治性を読み解くことが目的です。

成績評価方法：

授業中の発表／議論と学年末のレポートをもとに評価します。必ず出席し、積極的に参加することが条件です。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

文学と社会

セット履修

石川 学

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「文学」と「社会」の関係について、どんなことがイメージされるでしょうか。「社会」を人間どうしの関わり合いが生み出す連合や共同体として大まかにとらえるなら、「社会」がなければ「文学」はない、と言えます。「文学」が成り立つためには、作品が流通する共同の環境が必要です。根本にさかのぼれば、そもそも言葉が人々のあいだで分け持たれ、共同的な活動の基盤となっているからこそ、「文学」という言葉の芸術も成り立ちます。その意味で、「文学」は本質的に「社会」的なものだ、と考えることができそうです。

一見どんなにひねくれた、社会に背を向けているような文学作品も、こうした根本条件のなかで存在しています。とはいえ、わたしたちは日々の生活のなかで何気なく小説や詩を読んだり、演劇に触れたりして過ごしていき、そこでなにか「社会」に関わっているなどと意識しないことも珍しくありません。むしろ、社会性を売りにしたような作品があれば、生々しく押し付けがましいように感じることもあるでしょう。「文学」が本質的に「社会」的なものとしても、「社会的な文学」は面倒くさい…。どうやら、「文学」と「社会」の関係には、踏み込んで考察してみる余地があるようです。

本授業では、「文学」と「社会」のこうした関係を、主に近現代のフランスを題材にして検討していきます。フランスは19世紀末のドレフュス事件を大きな端緒として、文学者や思想家たちによる「政治参加」の伝統を持つ国であり、この問題を検討するのに有効な題材です。今回は、世界中の学生運動に大きな影響を及ぼすことになった、1968年のパリ「五月革命」における文学者たちの振る舞いに着目することから始めるつもりです。つねに、同時代の日本、そして、現代の日本との比較を視野に入れながら授業を進めていきます。

具体的な内容は以下の通りです。

春学期は、テキストの講読とディスカッションを行います。毎回担当者を決め、レジュメを作って発表してもらい、その内容を受けて全員で議論します。レジュメの作り方やプレゼンテーションの仕方など、アカデミックな発表のスキルについても合わせて学習します。

秋学期は、各人がテーマを決め、学期末までに小論文を完成させるべく、執筆を進めていきます。授業内で執筆のための準備的発表を行い、そこで得られるコメントを反映してもらいます。体裁の整え方など、論文執筆のルールについても身につけます。

成績評価方法：

ディスカッションへの参加、レジュメ、プレゼンテーション、小論文を総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

「参考書」の項目を参照してください。

参考書：

以下の著作等から講読テキストを選ぶ予定ですが、受講者のみなさんの希望にも応じて調整します。

なお、入手方法は初回の授業時に指示します。

- ・西川長夫『パリ五月革命私論 転換点としての68年』、平凡社新書、2011年。
- ・ローラン・ジョフラン『68年5月』コリン・コバヤシ訳、インスクリプト、2015年。
- ・王寺賢太・立木康介『“68年5月”と私たち「現代思想と政治」の系譜学』、読書人、2019年。
- ・クリスティン・ロス『革命のアルケオロジー 68年5月とその後 反乱の記憶・表象・現在』箱田徹訳、航思社、2014年。
- ・西田慎・梅崎透『グローバル・ヒストリーとしての「1968年」 世界が揺れた転換点』、ミネルヴァ書房、2015年。
- ・モリス・ブランショ『ブランショ政治論集 1958－1993』安原伸一朗・西山雄二・郷原佳以訳、月曜社、2005年。
- ・鈴木道彦『私の1968年』、関月社、2018年。

担当教員から履修者へのコメント：

前提知識は問いません。小説や詩、演劇など、文学にまつわる関心があり、学術的なまなざしを向けてみたいと考える方にとりわけ有意義な機会になると思います。原則として授業には毎回出席し、担当をこなすとともに、議論に積極的に参加してください。

万一履修希望者が多数になる場合は、選抜を実施する可能性があります。初回の授業時に対応を考えますので、履修を希望する方はかならず出席してください。

質問・相談：

授業の前後を中心に、適宜受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

ハリウッドのシェイクスピア：戯曲と映像表現

セット履修

大矢 玲子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。2016年に没後400年を迎えた英国ルネサンス期の劇作家ウィリアム・シェイクスピア（1564-1616）の作品は、サイレント時代にすでに600回以上映画化されたのみならず、その後も黒澤明の『蜘蛛巣城』や『乱』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ+ジュリエット』などに明らかとなり、世界の著名な映画監督や人気俳優によって映像化され続けています。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映画化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつくられた時代背景の分析などをおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりとして、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることを願っています。また、宣伝用の予告編やポスターを含めて、制作に巨額が投じられる映画という媒体は、アメリカ型資本主義社会における芸術のありかたを考える、よい手がかりを提供してくれることと思います。

春学期は『ロミオとジュリエット』に始まり、喜劇『じゃじゃ馬馴らし』、ロマンス劇『テンペスト』など、秋学期には、『ハムレット』や英国歴史劇などを題材とした映画に注目し、各作品について数本を比較研究する予定です。（取り上げる映画は、受講者の関心によって調整いたします。）

成績評価方法：

授業への積極的な参加を最重要視します。授業のディスカッションでは、自分の意見や感想を、論理的、分析的に話すこと、そしてクラスメートの意見に関心を持ち、深く理解することを目標にしてください。各回で取り上げた映画についての授業中の意見発表と、提出されたワークシート、春秋学期にそれぞれ課されるレポートが評価の対象となります。

テキスト（教科書）：

シェイクスピアの作品（さまざまな日本語翻訳があります。英語原典を読みこなすことは、この授業では要求していません。）

参考書：

『シェイクスピア映画論』ラッセル・ジャクソン編；井上優 他訳（東京：開文社出版、2004年）

担当教員から履修者へのコメント：

シェイクスピアに関する特別な知識は必要ありません。芸術（そして商業芸術）と文学に関心のある学生の履修を歓迎します。受講者は、毎回の授業の準備として、シェイクスピア映画のDVD（日本語字幕付き）を見たうえで、imdb.com、rottentomatoes.com、allcinema.net を含むインターネットサイトなどを利用して、作品に関する情報を集めることになります。

質問・相談：

質問や相談は教室やメールで随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）**

スピノザ『エチカ』を読む

セット履修

川添 美央子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「スピノザの倫理学は、賢者を描いた肖像画ではない」と言われる。その視線は外に目標を求めるより、むしろ自然や人間（達）の間へ、内側へと向かってゆくからであろう。ではそれは、認識や実践をどのように整えてゆくことで、自由を得ようとする道程なのだろうか。また、「無限様態」やら「精神がそれであるところの観念」といったスピノザ独特の言葉の意味が見えかけてくると、今までとはまったく異なる仕方世界が立ち現れてくるような感覚に襲われるものである。スピノザの視線で目を凝らすと、物事や人間はどのように見え、あるいは感じられるようになるだろうか。彼の主著『エチカ』の通読を通じて、こうした不思議な感触の一端だけでも味わってもらいたい。

進め方としては、『エチカ』の世界への入りやすさを考慮し、春学期に3、4部、秋学期に1、2、5部を取り上げる。なお、このセミナーの履修を希望する者は、必ず第1回目の授業に出席してほしい。

成績評価方法：

提出されたレポート3割、授業のパフォーマンス（発表の充実度や討論への参加）7割の比率を目安に評価する。

テキスト（教科書）：

テキストの入手については初回の時に説明する。以下の版を使うことを考えている。

スピノザ『エチカ』上、下（岩波文庫）畠中尚志訳

参考書：

授業において指示する。

担当教員から履修者へのコメント：

『エチカ』は難解な書物だが、それはいわばドストエフスキーの小説のように、18歳の時は難しく感じられたが、人生経験を経た後で読んでみたら意味が分かるようになった、というタイプの難しさではなく、何歳の時に読んでも難し

い。ならば、若くて頭の柔らかいうちに抽象的な概念と向き合う練習をしておいたほうが得策というものである。同時代の哲学や、キリスト教神学思想史など、必要な知識については適宜説明するので、仲間や教員と一緒に哲学書と取り組む訓練を積みたい学生の履修を歓迎する。なお、場合によっては哲学カフェ的な試み（茶菓は出ません）も取り入れたいと考えている。

質問・相談：

授業の前後に受け付ける。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

作曲家作品研究

セット履修

木内 麻理子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本セミナーでは、文献講読や資料調査を通して、関心をもった作曲家や音楽作品について考えを深め、自分の言葉で表現できるようになることを目指します。初回授業で、セミナーで1年間取り上げる作曲家1人を皆さんと決定した後、その作曲家と作品についての理解を深めるために、毎回、関連する文献（基本的には英語の予定）を講読します。担当者には、文献のレジュメとそこから生まれた問題点や疑問点について発表してもらいます。その後、ディスカッションを通して、全体で議論を深めます。本セミナーを通じて、音楽文献・楽譜の基本的なリサーチ方法やプレゼンテーションの仕方を身につけると同時に、音楽用語や音楽書に特有の言葉づかいにも慣れていきましょう。

春学期は、発表した文献の内容と問題点・疑問点について、情報を補足しながらレポートにまとめることを課題にします。秋学期は、各自、関心のあるテーマについて文献表を作成することと架空の演奏会のプログラム・ノートを書くことを課題にします。

成績評価方法：

平常点 30%

課題評価点 70%

テキスト（教科書）：

授業中に指示します。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

質問・相談：

授業直後か、メールで受け付けます。アドレスは履修者に公表します。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

History and International Relations: Examining How Our Culture Shapes Our Understanding of History and the World

セット履修

クラシゲ ジェフリー ヨシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Whether the country is the US or Japan, students at the middle school and high school levels are often given a single textbook that provides a narrative description of “history”. As those same individuals reach the university-level, many are struck by the multiplicity of viewpoints and interpretations in the field of history even within a single nation. However, often within a particular country, shared cultural assumptions and biases can cause the breadth of interpretations to be narrowed. For example, in the US, the view of World War II as a “holy war” waged against Fascist powers still holds sway in the minds of many Americans.

Often such cultural assumptions and biases tend to shadow international relations between countries, influencing the behaviors of peoples towards one another long after the principle actors of historic events themselves have passed away. It is only through an honest investigation of these differing cultural assumptions and biases that we can attempt to solve these international frictions, and this course attempts to scrutinize a number of the more controversial historical narratives dealing with ***imperialism and the Pacific War*** that still negatively impact US-Japanese relations. It is thus with the hope that by investigating these contentious topics (especially through the lens of the scholarship of “poet” historians like John Dower) the students will be better prepared to interact with foreigners when working in the international community, and thus act as a bridge between the East and the West.

成績評価方法：

Grades will be based upon class participation and the quality of assignments, projects, and presentations. Regular attendance is required.

Course Requirements

Discussion attendance/participation: 40% of the course grade

Bi-Weekly 1 page, DOUBLE SPACED response papers (roughly 225-275 words) : 30% (beginning the second week of class)

Oral presentations (1 per semester) : 30%

テキスト (教科書) :

We will read, on average, two chapters of a book or two different articles per week. The assigned readings will be available online, FREE in PDF format. There is no single textbook for the class.

参考書 :

Students will need a college-level English dictionary in either print or electronic format. Students will need a college-level English dictionary in either print or electronic format.

担当教員から履修者へのコメント :

General Expectations: This course is very demanding, but I believe that it will help push each of the participants to grow both as scholars and as citizens of the international community. Students are expected to be attentive and contribute to in-class discussions, and express their ideas and opinions in a respectful manner. Classroom discussion of the provided reading materials is a central part of the class. Thus, students must be ready to read, write, and express their opinions each week.

Required Resources: Please make sure to have a working email account (not just an account associated with a keitai cell phone). You will also need access at home to a computer with word processing capabilities.

質問・相談 :

Please feel free to contact me by email (kurashig[AT]fbc.keio.ac.jp), but also do not hesitate to approach me before or after class. If I am in my office and the light is on, please feel free to knock as I am always happy to speak with students if time is available.

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

中国を見るための基礎知識

セット履修

高橋 幸吉

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

本授業では“中国”を見るための基礎知識を学びながら、調べる・読む・書くというアカデミックスキルの基礎を習います。“中国”という捉え難い対象を考察するにあたって、その歴史的背景や政治・社会・文化を最低限理解していないと、見当外れの結論に帰着してしまいます。

春学期は現在中華人民共和国に直接大きな影響を与えている近代以降の歴史を概観し、その後幾つかのテーマについてオムニバス形式で授業を行います。夏休みのレポート作成後、秋学期授業ではレポートの修正を繰り返し、学期末までにレポートを完成させます。

※本授業は国際教養プログラム (中国語圏) の認定科目です。

成績評価方法 :

最終レポート (6000字以上) の水準にプレゼンを加味して評価します。レポートを提出出来なかった者、分量が満たない者は単位を取得出来ません。またレポートに剽窃が認められた場合は学則に従って処分されます。

参考書 :

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術 インターネット完全活用編』講談社現代新書 2003年 ISBN:978-4-06-149677-4

佐藤望等著『アカデミック・スキルズ (第2版) ——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会 2012年 ISBN:978-4-7664-1960-3

本多勝一著『日本語の作文技術』朝日文庫 1982年 ISBN:978-4-02-260808-6

担当教員から履修者へのコメント :

調べる・読む・考える・書く・伝えるという、今後一生に涉って使用するスキルの基礎固めが目的です。そのため春学期の終盤から費やす労力が徐々に増え、夏休み～秋学期授業はかなりハードなものになります。労力・気力・時間をかなり費やすことになるので、これを理解した上での履修をお願いします。

質問・相談 :

随時受け付けます。

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

アメリカ研究

セット履修

竹内 美佳子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

アメリカ社会論を読み、超大国の光と影を考察します。アメリカは独立革命による建国以来、民族対立、市民戦争、大衆消費社会の発達、貧富の格差拡大、自然環境破壊、核戦争の歴史を辿ってきました。多民族社会アメリカの理想と現実を知ることは、21世紀の世界を考えることにも繋がります。

春学期は、アメリカの政治・経済・思想を総論として学びます。秋学期は、アフリカ系アメリカ人を中心とするマイノリティの視点から米国社会を捉え直し、重要な演説を通して問題の理解を深めます。履修者の皆さんは、リサーチ・

発表・討論を通じて独自のテーマを追求し、論文作成に取り組むことになります。

成績評価方法：

発表・討議・レポートに基づく総合評価。

テキスト（教科書）：

有賀夏紀 『アメリカの20世紀（上・下）』 中公新書

上杉忍 『アメリカ黒人の歴史－奴隷貿易からオバマ大統領まで』 中公新書

サーグッド・マーシャル 他 『アメリカの黒人演説集』（荒このみ 編訳）岩波文庫

参考書：

授業内容に即して指示します。

質問・相談：

授業中・授業後に随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

中国の歴史と思想を考える

セット履修

種村 和史

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

悠久の歴史を持ち、日本と切っても切り離せない中国。その歴史と伝統を知することは、みなさんが今後中国とつきあっていくために必須の教養となります。

本授業では、中国の古典文献の読み方を訓練していき、中国古典から自分の興味にしたがって研究テーマを見つけ出し、それを学問的な方法で考察し、プレゼンテーションとレポートとして発表する方法を学びます。

春学期は主に、文献の読解能力の向上と問題の見つけ方のノウハウの習得を目指し、それをもとに秋学期は独自のテーマを研究・発表していきます。

成績評価方法：

本科目は通年科目であるので、成績も通年で評価する。

出席・平常点・レポート・プレゼンテーションを総合して評価する

テキスト（教科書）：

教員が用意する。

講読する文献は、教員が準備した候補の中から、履修者の興味・読解能力などの諸事情を考慮して初回授業に相談して決める。

質問・相談：

授業時に受け付ける。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

きものを作ろうー近代と前近代の衣服

セット履修

原 大地

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーの根本的な興味は、我々の衣料を通して、近代とそれ以前の時代の文化・社会を理解することです。そのために、春学期はきものの製作、秋学期はグループによる論文執筆を行います。

西洋近代という時代が産業革命とともに始まったこと、そして産業革命の先鞭をつけたのが繊維業であることは誰もが知っています。しかし、工業化と商業化によって我々の衣生活がどう変化したのか、その具体的な様相はあまり知られていないように思います。19世紀から20世紀にかけての西洋の人々、あるいは同じ時代の日本の人々が何を着ていたのか。そしてそれが文化・社会の全般的な状況とどのような関係を結んでいたのか。それを考えるきっかけを得るために、この授業では、近代以前の衣服である日本の「きもの」を製作することから始めます。現在のように、完成した服を買ってくるのが衣類を手に入れるほぼ唯一の方法になったのは、それほど古いことではありません。一般の家庭で行われていた「衣服を作る」という営みを、実際に手を動かして体験することは、単に日本の文化伝統を継承するというだけにとどまらず、さまざまな知的刺激を与えてくれるでしょう。担当する教員は決して縫製の専門家ではありませんが、専門性が欠如していることこそ、前近代の衣服の特徴のひとつですから、あえて蛮勇をふるってこれに挑むものです。

秋学期は、春学期の体験を生かしつつ、近代と前近代の衣文化に関する論文を書いてもらいます。こちらは文献を中心にした調査ということになるでしょう。数人のグループを作り、一つのテーマについて共同で考察し、論集を作ること为目标にします。テーマはさまざまに考えられますが、たとえば、きものということから出発して、西洋近代のジャポニズムのような文化現象を考察してみても面白いと思います。

成績評価方法：

授業への貢献と最終論文の評価を総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に指示します。

参考書：

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

好奇心と探究心をもつ学生の履修を歓迎します。履修希望者は初回のガイダンスに必ず出席してください。

質問・相談：

授業後に受けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

旅と都市の文化史：ウィーンを中心に

セット履修

フォーグル、ヴァルター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Im Zentrum dieses Kurses steht zuerst die Geschichte des Reisens mit Schwerpunkt auf Europa und die deutschsprachigen Länder. Von der antiken und mittelalterlichen Pilgerreise bis zum gegenwärtigen City-trip am Wochenende werden wir die Geschichte des Reisens vor dem Hintergrund technologischer Innovationen und sozial- sowie kulturgeschichtlicher Entwicklungen verfolgen. Wir werden uns auch den verschiedenen Aspekten der Reise selbst zuwenden und uns fragen, was im Moment des Aufbruchs und der Heimkehr geschieht.

Ausgehend von Reiseberichten wenden wir uns in der Folge den vier wichtigsten Städten der ehemaligen Habsburger-Monarchie zu, deren Geschichte aufs Innigste miteinander verknüpft ist. Wir werden vor allem über die Kulturgeschichte von Wien, Prag, Budapest und Triest sprechen. Auch ein kurzer Überblick über die historischen Ursprünge der Stadt sowie über bedeutende Städte in der Geschichte soll gegeben werden.

成績評価方法：

平常点（30%）、出席（30%）、プレゼンテーション、レポート（40%）

テキスト（教科書）：

教科書は使用しません。授業に必要な資料は、随時プリント配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

毎回の授業参加と積極的な共同作業は本授業の必須条件となる。なお、授業参加条件として、すでに一年間ドイツ語を履修、またはそれに該当するドイツ語の能力を有していることが必要です。

質問・相談：

授業終了後

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

現代移民研究

セット履修

深澤 晴奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

21世紀の世界の移民について、履修者のみなさんと学び考えていくセミナーです。みなさんも日々のニュースや日常生活で触れているように、現代世界には様々な移民が存在しています。みなさん自身も移民である／あった／となる／ことがあるかもしれません。

本セミナーでは、履修者の興味・関心を最大限に取り上げながら、現代世界における移民、外国人労働者、難民に関する学術研究書を読み、様々な角度から理解を深めていきます。事例研究については、各国・地域の移民政策や統合政策について学んだ上で、履修者に発表をしてもらい、考察します。その過程で、プレゼンテーションの方法やレポート執筆のスキルも学んでいきます。

成績評価方法：

授業での発表、学期末に提出してもらったレポート、授業への参加姿勢をもとに総合的に判断する。

参考書：

授業において適宜指示する。

担当教員から履修者へのコメント：

授業で講読する文献を毎回必ず予習し、授業内での発表に積極的な学生を歓迎します。

質問・相談：

質問などは授業の前後に随時受け付ける。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

日本・スペイン交流史

セット履修

松田 健児

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

【この授業は「国際教養プログラム（スペイン語圏）」の対象科目です】

このセミナーでは、春学期に日西交流史に関する概説書を精読したうえで、秋学期はそれぞれの関心に沿ってテーマを選択し、レポートを書き上げることを目標にします。一年を通じて、学術的な本の読み方・レジュメの書き方、プレゼンテーションの仕方や論文の書き方の基本を身につけることを目標とします。

成績評価方法：

平常点（出席、発表、ディスカッション）とレポートで評価。最低2回の発表、担当したテーマに関するレポートの提出を義務とします。分量は400字×5枚×2回＝4000字（春期）、400字×20枚×1回＝8000字（秋期）以上です。

テキスト（教科書）：

授業内で指示します。

参考書：

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

積極的な参加を求めます。対象となる学生はスペイン語履修者を想定していますが、他言語の履修生も履修可とします。

やむを得ない事情を除いて欠席は厳禁です。履修を希望する学生は初回のガイダンスに必ず出席してください。

質問・相談：

メールにて随時受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類）2単位（秋学期）

修道制とヨーロッパ近代

セット履修

御園 敬介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ムルシアのベネディクトゥス（480頃－537）やクレルヴォーのベルナルドゥス（1090頃－1193）に代表される修道院改革や、十二世紀に端を発するフランシスコ会やドミニコ会といった托鉢修道会の動向が、中世ヨーロッパの社会を理解するうえで不可欠の要素であることはよく知られています。しかし、こうした西欧修道院制が、宗教改革を経て啓蒙の世紀に入ってから形を変えながら命脈を保ち、陰に陽に時代の変化を担っていたことは、意外と知られていません。

そこで、この授業では、近代初期における修道制の運命に注目しながら当時の人と文化の様相を考察することで、ヨーロッパ史の深層に分け入ってみたいと思います。今日では忘れられた修道士たちの知的活動を辿ることは、西欧近代の歴史を新たな角度から捉え直すだけでなく、その知られざる側面を発掘することにもつながるはずです。

そのために、春学期にまず何冊かの新書を読みます。新書といっても、実際には密度の濃い歴史研究書ですが、知らない人名や出来事を調べる手間を惜しまずに丁寧に読み進めていけば、内容を十分に消化したうえで知見を深めることが可能です。秋学期には、そこで出会った様々なテーマの中から一つを選び、論文を書きます。こちらは相当程度に主体性が求められる作業になりますが、それを通して、歴史を書くとはどういうことか、あるいは書かれた歴史とはどのような性質を有するのかを体感することが目標です。

成績評価方法：

平常点（授業参加の度合い、課題の質）とレポートから総合的に評価します。無断欠席者は評価の対象から外れます。

テキスト（教科書）：

佐藤彰一『歴史探求のヨーロッパ』、中公新書、2019年

佐藤彰一『宣教のヨーロッパ』、中公新書、2018年

参考書：

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者は、かならず初回の授業に出席してください。少人数の演習ですので、欠席はできません。毎回予習をして授業に臨み、積極的に発言することが単位取得の要件となります。

世界史を学びヨーロッパの歴史に関心を持っていることを履修の要件とします。

質問・相談：

授業前後に受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）**

南アジア地域研究

セット履修

宮本 万里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本セミナーでは、学生の皆さんが文献講読や資料調査をつうじて問題を発見し、考え、自らの言葉で語る力を身につけることを目指します。その方法の一つとして、南アジア地域でのフィールド・ワークを想定したフィールド調査計画の作成を課題とします。南アジア地域研究には、宗教対立や民族問題、カースト、女性問題、環境と開発、貧困問題、オリエンタリズム、ポストコロニアルなど、過去と現在が交錯する多様なテーマがあります。しかし、どのテーマも独立して存在しているわけではなく、他のテーマとの関係性のなかで理解をすすめる横断的で複眼的な視点が必要となります。本セミナーにおける調査計画作成のプロセスでは、必要な情報を探し出してまとめる力とともに、複眼的にものごとを捉えつつ全体の流れを見通す力を鍛えていきます。

春学期では南アジア地域の幅広い理解をめざし、いくつかのテーマに渡って基礎文献を読んでもらいます。担当者は各章や論文の内容をレジュメに要約して発表し、全体で議論を深めます。秋学期には、個々の関心テーマにそって文献調査を行い、議論を深めながら調査の構想をまとめていきます。

成績評価方法：

授業中の毎回の発表内容と総合討論への貢献度によって評価します。

テキスト（教科書）：

特にありません。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業計画は参加人数や進捗状況によって変更する可能性があります。

より深い理解のために、南アジア研究の入門となる「社会学Ⅰ（南アジアの宗教と社会）」を受講していることが望ましいですが、受講が難しい場合はその限りではありません。アジア・アフリカの文化や政治、社会に関心のある学生はどなたでも歓迎します。

質問・相談：

授業中およびオフィスアワーに受け付けます。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）**総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）**

中国経済セミナー

セット履修

孟 若燕

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーの目的は2つある。1つは、履修者が現代中国の経済をはじめ、政治や社会、産業など様々事情を理解する。もう1つは、自ら中国関連の何かの問題について仮説を立てて、資料を集め、分析を行い、最終的に一本の論文をまとめる。

春学期ではテキストの輪読が中心で、テキストの勉強を通して中国経済を理解する。『中国経済入門〔第4版〕高度成長の終焉と安定成長の途』は、第1版からの骨格は変えず、時代変化を踏まえデータ更新のみならず、新しい課題も取り入れられて、より現実に近い中国経済像を提示する。入門に相応しい一冊である。

秋学期では、主に履修者の研究発表を中心に進めたい。履修者はそれぞれ2回プレゼンする。1回目は、問題提起や歴史的な経緯、現状、自らの仮説について、2回目は、分析手法、資料・データの分析、引用文献の紹介などについて発表を行う。

成績評価方法：

出席や輪読、研究発表、レポート、論文による総合評価。また、授業参加も評価対象となる。

テキスト（教科書）：

南 亮進・牧野文夫編『中国経済入門〔第4版〕高度成長の終焉と安定成長への途』、日本評論社、2016/12/15

参考書：

授業中お知らせする。

担当教員から履修者へのコメント：

中国経済や中国事情に関心をお持ちの方は、是非来てください。

質問・相談：

随時相談を受けますので、気軽に声をかけて下さい。

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

Psychology in Business

セット履修

森吉 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The main objective of this course is to learn about human mechanism that may influence activities that take place in business contexts. Consumer behavior is influenced by various factors. The focus will be on consumer psychology and its effect on purchasing behavior. Students are expected to learn psychology related to marketing, consumer behavior and other business issues. It is essential that students actively participate in both in-class and outside class activities. In order to enhance understanding and application of knowledge, students will be required to engage in academic library research (in English). An information literacy seminar will be provided for students who are not familiar with library research. All class activities will take place in English. Students with intermediate or higher levels of English and those who are willing to commit themselves to coursework are welcomed.

成績評価方法：

Evaluation will be based on attendance, class participation, presentations, written assignment, and exams.

テキスト (教科書)：

Will be announced

参考書：

Will be announced

担当教員から履修者へのコメント：

Active participation is essential.

Highly motivated students are welcomed since this is a time- and energy-consuming course.

In general, the course is designed for students at the intermediate or higher levels of English.

This course is counted as part of **Kokusai Kyoyo program**.

The course contents are subject to change.

Students who wish to take this course are required to attend the guidance provided in the first week for selection.

質問・相談：

When students have questions, they can contact the instructor after class or by appointments.

総合教育セミナーDa (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

総合教育セミナーDb (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)

21世紀のラテンアメリカ

セット履修

安井 伸

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本セミナーでは、気鋭の政治学者による200頁程度の英文テキストを読み進めながら、現代ラテンアメリカの政治経済問題を学び、後半で各履修者が関心を持ったテーマについて調査・研究し、小論文にまとめることを目指します。

かつて先進国にもっとも近い存在と思われていたラテンアメリカの主要国が、なぜ東アジア新興諸国の後塵を拝する結果となったのか？比較的豊かな地域でありながら、最貧国並みの経済的格差がなくなるのはなぜか？新自由主義経済政策は、経済成長を促したのか、それとも経済格差を拡大しただけだったのか？民主主義と経済成長にはどのような関係があるのか？ラテンアメリカ諸国が抱えるさまざまな制度的ジレンマを考察しつつ、これらの問いかけに対する答えを模索したいと思います。

テキストの精読は目的ではなく、あくまで教科書を題材にラテンアメリカの政治経済問題を学ぶことが目的です。週10頁程度を目安に履修生の意欲と能力に応じ、柔軟に進めたいと思います。最初の数回は教員がレジュメを用意しますが、その後は履修生が順番にレジュメを作成し、発表していきます。教員は、予め専門用語やキーワード、重要な概念や理論、時代背景等につき説明し、履修生による教科書の読解・レジュメの作成へのサポートに努めます。秋学期には、各履修者が関心を持った国の最新の動向をリサーチし、報告・レポートの作成を行ってもらう予定です。

年間を通じて、レジュメの作り方、プレゼンテーションの方法、資料・文献の探し方、論文の書き方等、3、4年生のゼミで必要となるアカデミックなリーディングやライティングの基礎を学ぶことも目的の一つです。

成績評価方法：

授業への準備・積極的参加、発表およびレポートを元に、通年で評価します。正当な理由のない欠席は減点とします。

テキスト (教科書)：

Kingstone, Peter (2018). The Political Economy of Latin America: Reflections on Neoliberalism and Development after the Commodity Boom (2nd Ed.) Routledge. ISBN:978-1-138-92699-8.

教科書の取得方法については初回授業に指示するので、前もって買う必要はありません。

参考書：

ラテン・アメリカ政経学会編『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』新評論 2014年 ISBN:978-4-7948-0985-8

恒川恵一『比較政治—中南米』日本放送出版協会 2008年 ISBN:978-4-595-30841-3

大貫良夫他監修『[新版]ラテンアメリカを知る事典』平凡社 2013年 ISBN:978-4-582-C0530

担当教員から履修者へのコメント：

担当教員はラテンアメリカ政治を専門にしています。ラテンアメリカおよび途上国一般の政治経済に関心のある学生のみなさんを歓迎します。東南アジアやアフリカなどラテンアメリカ以外の地域に関心のある人たちも一年間ラテンアメリカについて学ぶことは決して無駄にはならないでしょう。

外国語で専門書を読み、それを元に発表・議論することについては、ハードルが高いと感じる人もいるかもしれませんが、しかし、日吉に在籍する内に外国語の専門書を1冊読み切れることは、その苦労を償って余りある貴重な経験になると思います。

なお、本セミナーは国際教養プログラム（スペイン語）の対象となります。

質問・相談：

質問は、授業中および授業前後に随時受け付けます。個人面談等が必要な際は、直接またはメール（yasshin@keio.jp）でアポを取ってください。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

異文化間トレーニング

セット履修

吉田 友子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じて文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。

成績評価方法：

出席・参加（25%）、宿題（25%）、プロジェクト（25%）、試験（25%）

テキスト（教科書）：

プリントは keio.jp 経由で配付する。

参考書：

- (ア) 『異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる』
八代京子・町恵理子・小池浩子・吉田友子著 三修社出版 2009年
ISBN-10: 4384012438 ISBN-13: 978-4384012439
- (イ) 『Intercultural Communication Training: An Introduction』
By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida Sage Publications. 1994.
ISBN-10: 0803950756 ISBN-13: 978-0803950757

担当教員から履修者へのコメント：

意欲さえあれば、英語のレベルに自信の無い学生も大歓迎です。

質問・相談：

授業終了後に受けます。メールでの質問は：

tomokoyoshida414@gmail.com までお願いします。

総合教育セミナーDa（Ⅱ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅱ類） 2単位（秋学期）

Topics in Japanese Studies: Religion and Politics

セット履修

ライオンズ, アダム J

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This seminar is a full year course in English language humanities. This year, the spring semester adopts a historical and anthropological approach to the study of Shinto from ancient times to the modern period. The fall semester will focus on the Occupation of Japan and its impact on postwar culture.

In the spring, we will read and discuss selections from Helen Hardacre's *Shinto: A History* (2017). The class deals with questions including: What is Shinto? What is the difference between a temple and a shrine? How do scholars understand the Kojiki, the relationships between Buddhas and kami in medieval religion, and the place of Shinto in Japanese society today?

In the fall, we will read and discuss selections from John Dower's Pulitzer Prize Winning book *Embracing Defeat: Japan in the Wake of World War II* (1999). This is not a book about the war. It is a study of the Occupation period and its impact on Japanese culture. In the introduction, Dower writes, "I have tried to convey "from within" some sense of the Japanese experience of defeat by focusing on social and cultural developments as well as on that most elusive of phenomena, "popular consciousness" [...]. No matter how affluent the country later became, these remained the touchstone years for thinking about national identity and personal values." (pp. 24-5).

The history of Shinto and the legacy of the Occupation era continue to shape Japanese society today, and we will investigate these topics with an eye to understanding the present. As we explore these topics, this course aims to help students to develop English language communication skills, international cultural competencies, and a foundation in the humanities. The class relies on pair work and group activities, and students will be required to participate in discussions and presentations. All course readings will be made available as PDFs.

成績評価方法：

Class Participation: This class is discussion and activity based. Students are expected to read the week's assignments before the weekly meeting, to consider the guiding questions set out by the instructor for each week, and to participate vigorously in class discussion. 50 percent.

Response paper: Students will be required to prepare one single page response paper based on the readings. 20 percent

Student Presentation: Students will be required to take turns introducing weekly reading assignments (either individually or in a team depending on enrollment). Presenters should summarize the contents of a reading and raise questions in order to frame our class discussion. 30 percent.

テキスト（教科書）：

Hardacre, Helen. Shinto: A History. Oxford University Press, 2017.

Dower, John. Embracing Defeat: Japan in the Wake of World War II. W.W. Norton & Co. 1999.

参考書：

A reliable English dictionary will be useful. A reliable English dictionary will be useful.

担当教員から履修者へのコメント：

This class is intended for students who want to improve their English skills and to develop a familiarity with the humanities. The reading selections will be made appropriate to the level of the students. Everyone will be required to speak in class, and I will expect all students to be supportive of each other as we work together.

質問・相談：

If you have any questions please feel free to come to see me after class, to email me, or to visit my office. I look forward to helping you to make the most of your education.

総合教育セミナーDa（Ⅲ類） 2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類） 2単位（秋学期）

「聖地」、信仰、宗教、観光について考える

セット履修

新井 和広

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

※ 本セミナーは留学生以外の方も受講できます。

本セミナーで扱うテーマは「聖地」、信仰、宗教、観光です。最初の3つは互いに関連がありそうに見えますが、それらと観光はどのようにつながるのでしょうか。実は歴史的に見ると、ある宗教を信仰している人が聖地を訪れるのは人生の中でも貴重な観光の機会でした。現在でも世界的な観光ブームや宗教復興にともなって、今まで注目されてこなかった聖地が再発見されたり、新たな聖地が作られたりしています。それに加え、最近では日本においても映画やドラマのロケ地、アニメの舞台などが「聖地」と認識され、宗教と何の関係もない場所に「巡礼」という現象が現れています。これらの動きは、観光を通して地方活性化を図る政府や自治体、地元のコミュニティの活動とも連動しています。人はなぜ特定の場所を聖なるものとして認識するのでしょうか。また、特定の宗教と関係がない「聖地」を訪れることは、「俗」な行いなのでしょう。

本セミナーの目的は、「聖地」と観光の関係を、今まで書かれてきた文献を通じて学び、考え、自分なりの結論を導き出す訓練をすることです。受講生はグループを作り、それぞれテーマを選び、それに沿った資料収集、発表、議論を行い、レポートを執筆します。各グループは留学生と日本人の学生の人数が半々になるようにメンバーを調整します。グループワークを通して留学生・日本人学生間のコミュニケーションが活発になることも期待します。

担当教員の専門は南アラビアとジャワ（インドネシア）の聖者信仰で、キーワードは「イスラム」「歴史」ですが、調査・研究のテーマは「聖地」や観光に関連するものでしたら自由に選んでくださって結構です。

成績評価方法：

出席状況、グループ活動への参加・貢献、口頭発表・議論の内容、レポートで評価します。

テキスト（教科書）：

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』、第2版、東京：慶應義塾大学出版会、2012年。ISBN：9784766419603

ほか、2回目の授業で何の本を読むのか決定します。

参考書：

岡本亮輔『聖地巡礼——世界遺産からアニメの舞台まで』、中央公論新社、2015年。ISBN: 978-4121023063

山中弘編『宗教とツーリズム——聖なるものの変容と持続——』、世界思想社、2012年。ISBN: 978-4790715658

その他、この種の本はたくさん出版されているので必要に応じて授業で紹介していきます。

担当教員から履修者へのコメント：

資料を集め、読み、考え、自分たちの意見を発表することの楽しさや厳しさ、知的興奮を味わってほしいと思います

す。昨年度の留学生セミナーでは御園先生が宗教というテーマを立てました。私も宗教に関連したテーマで研究していますが、宗教そのものよりは、非宗教的なものも含めて「聖地」とされているものに興味があります。昨年度に私が担当したセミナーで受講生が選択したテーマは映画やテレビ番組のロケ地となった場所（ローマ、北海道）、アニメの聖地（岐阜、横浜）、「伝統宗教」における聖地（タイ、イングランド）、近代以降新しく生まれた聖地（フランス、日本）、四国遍路、サイクリストの聖地、山岳信仰、ディズニーランド、ヒップホップの聖地、聖地としてのスタジアム、メイドカフェなど多様なものでした。本年度はグループ学習が中心になるためテーマの数自体は減りますが、留学生も受講するため、どのようなテーマが出てくるのか楽しみです。

質問・相談：

質問は基本的に授業後、または事前に予約をとる形で受け付けます。もしリサーチや発表準備で悩むことがあったらなるべく早く相談してください。

総合教育セミナーDa（Ⅲ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類）2単位（秋学期）

地域との対話

セット履修

牛島 利明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、フィールドでの調査や活動を行いながら、地域の抱えるさまざまな問題（商店街の活性化、子育て・障害者支援、地域コミュニティのあり方など）について調査研究・提言・実践を行います。調査や体験・観察を通じて地域の問題・課題を発見し、多様な人々が安心して暮らせる魅力ある「まち」を支える新しい制度や文化（ソーシャルデザイン）を創出しようと試みる意欲ある皆さんの参加を歓迎します。

授業はグループワーク主体で行います。履修者は個人・グループでフィールド調査（観察、アンケート、インタビューなど）を実施し、さらに自分たちの提言に沿って実践的な活動を行うことを目指します。扱うテーマは履修した皆さんとの相談で毎年変わりますので、詳しい進め方は初回の授業で説明します。

これまでのセミナーの活動、および今年度のテーマ案などについての最新情報は以下のサイトからこの科目のリンクを参照してください。

<http://www.fbc.keio.ac.jp/~ushijima/>

成績評価方法：

レポートによる評価（年度末にグループ毎に報告書を作成）

平常点（フィールドワークへの参加程度、授業内プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加程度による評価）

テキスト（教科書）：

なし。必要な文献は適宜授業で指示します。

参考書：

『ソーシャルデザイン実践ガイドー地域の課題を解決する7つのステップ』 寛裕介著 英治出版 2013年 ISBN: 978-4862761491

『フィールドワーカー書を持って街へ出よう（増訂版）』 佐藤郁哉著 新曜社 2006年 ISBN:978-4-7885-1030-2

『自分の答えのつくりかたーINDEPENDENT MIND』 渡辺健介著 ダイアモンド社 2009年 ISBN: 978-4-4780-0613-9

担当教員から履修者へのコメント：

このセミナーは、地域が直面する現実的な課題を理解・分析することを通じて学ぶ科目です。このような科目の性格上、フィールドでの調査研究、イベントへの参加など、授業時間外の学習・活動にも主体的・積極的に取り組むことができる皆さんの参加を期待しています。

最初の授業時間内にレポートを提出して頂いて履修者を決定しますので、Web サイト（<http://www.fbc.keio.ac.jp/~ushijima/>）上の情報を確認の上、初回授業に必ず出席してください。履修人数は15名程度と考えています。商学部以外の方も歓迎します。

質問・相談：

授業終了後に受け付けるほか、履修者 LINE グループなどで随時行ないます。

総合教育セミナーDa（Ⅲ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーDb（Ⅲ類）2単位（秋学期）

企業に関する総合的な理解

セット履修

園田 智昭

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本講義は、特定の企業を対象として、組織、企業統合、企業の社会的責任（CSR）、ブランド、収益性など、さまざまな角度から検討を行うことで、企業に関する総合的な理解を得ることを目的とします。

授業の履修者には、グループ報告（4回）、ディベート（3回）、レポート提出（4回）などが課題として課されます。授業は3回を1セットと考え、1回目は講義による知識の習得、2回目と3回目はチームごとの報告を考えています。

1 回目から 3 回目のレポートは各回 A 4 で 1 枚で、毎回添削をして返却します。4 回目のレポートは、それまでの 3 枚を書き直したものを含めて 5 枚です。

また、企業に対するイメージを具体化するために、オプションとして夏休みに工場見学を実施する予定です（実施の場合、参加は任意です）。

成績評価方法：

平常点（授業中の報告・発言・出席状況等）とレポートにより総合的に評価します。

担当教員から履修者へのコメント：

会計に関する知識は必要ありません。この授業では、無遅刻・無欠席で臨める学生の履修を希望していますが、多くの課題が課されますので、授業時間以外にも準備のために時間をかける必要があります。

学生へのフィードバックを充実することを目的として、通年での授業にしています。

履修者数は 16 人（4 人×4 チーム）程度の少人数であることが適当と考えています。

最初の授業で配付するアンケートへの記述内容により履修者を決定しますので、1 回目のイントロダクションには必ず出席して下さい。

質問・相談：

授業終了後に受けつけます

総合教育セミナー Da（Ⅲ類） 2 単位（春学期）

総合教育セミナー Db（Ⅲ類） 2 単位（秋学期）

Food, culture, and society in Japan

セット履修

デサンモーリス、グレッグ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

While you may not ordinarily spend much time thinking about food beyond pleasurable flavors or nutritional makeup, in the field of Food Studies scholars look at food from a wide variety of perspectives. In this class, we will study food in Japan from historical and anthropological perspectives, concentrating on the social and ecological relations involved in food production, distribution, and consumption. Every class will focus on a theme (like “Nationalism,” “Risk,” or “Gender”) and use specific foodstuffs and dishes to examine this theme from different angles. There will be a strong emphasis on applying what is learned in class, including independent and group research projects.

成績評価方法：

*Spring semester**

Class Participation: 35%

You are expected to attend class and contribute to class discussion, respectfully engaging with your peers in thinking critically about course themes in terms of larger issues. You are responsible to coming to class and for turning in assignments on time even when you miss a class. After two unexcused absences, every subsequent absence will result in a subtraction of five points from your total grade. Please be respectful of both our time and yours, and be punctual to classes and meetings. Excessive tardiness or failure to attend the class in its entirety will result in a reduction of points from your participation grade.

Homework assignments: 25%

Final exam: 20%

Group presentation: 20%

*Fall semester assessment will include *individual* research projects.

テキスト（教科書）：

Readings will be uploaded to keio.jp. You are responsible for reading the assigned texts before class.

担当教員から履修者へのコメント：

You will be successful in this course if you put in the effort to engage with the course materials and apply the knowledge and skills acquired in class to completing your assignments. Motivation will be key to doing well in this course.

質問・相談：

I welcome questions via email at greg@keio.jp (and after class once the semester has started).

総合教育セミナー Da（Ⅲ類） 2 単位（春学期）

総合教育セミナー Db（Ⅲ類） 2 単位（秋学期）

地域と食について考える

セット履修

伏見 岳志

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

みなさんは、食べることに興味があると思います。そういう食べることをめぐる最近のトピックをいくつか取り上げて、さまざまな角度から考えていくのが、この授業です。今年度は、とくに地域と食との関係についてのトピックを中心にとりあげます。地域というのは、日本のなかのある地方も、国外の地域も、どちらもありません。トピックは、参加者のみなさんと相談しながら考えますが、具体的には、各地の伝統食、地産地消、B 級グルメ、食育、フードツーリ

ズム、スローフード、食と環境、グローバル流通と地域食といったテーマがあります。

春学期は、いくつかのトピックについて、その基礎知識についての報告、関連文献の購読、ディスカッションをおこないます。この作業を通じて、発表力・読書力・議論力の向上をはかります。

さらに、映像を見たり、実地見学もする予定です。

秋学期は、春学期の内容を拡大させて、食をめぐる問題のひとつを取り上げて、グループもしくは個人で調査をおこない、ディスカッションをして理解を深めます。そのうえで、最後に論文としてまとめます。この作業を通じて、調査力・議論力・文章力の向上をはかります。

担当教員は歴史学が専門ですので、時間的に遡る考え方をしがちです。でも、とくにこの見方にはこだわりません。現代的な視点、未来志向の調査も大歓迎です。

成績評価方法：

①提出課題（調査報告や論文など）②出席 ③授業内課題（発表、グループ討議、ディベート）

テキスト（教科書）：

授業内で扱うトピックについては、春学期のはじめにみなさんの意見を聞いて決めます。

参考書：

授業内で、適宜指示をします。

担当教員から履修者へのコメント：

ディスカッション力、プレゼンテーション力、文章執筆力などのスキルをのばしたい人にお勧めです。課題を期日内に提出すること、授業に必ず出席することが求められます。

質問・相談：

授業後に相談をうけつけます。

総合教育セミナーS（I類）2単位（春学期）

総合教育セミナーS（I類）2単位（秋学期）

イグ・ノーベル賞研究会

上村 佳孝

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

イグ・ノーベル賞（Ig Nobel Prize）をご存知だろうか？世界の第一線での研究、人類の生活に大きく貢献した業績に与えられるノーベル賞のパロディとして、「笑える科学研究」に与えられる賞である。1991年の設立以来、年々その人気と知名度を増しつつある。「バターを塗ったトーストはどのように落下するか」、「犬語翻訳機の開発」、「牛糞からのバニラの抽出」、「バナナの皮はなぜすべる？」など。「くだらない」とレッテルを貼られかねない奇想天外な科学研究はまさに玉石混淆、時には「インチキ科学」、「エセ科学」として物議をかもしものも含まれる。では、「インチキ科学」と「(正しい)科学」はどう違うのだろうか？

本セミナーでは、イグ・ノーベル賞を受賞した研究について、お互い発表・議論することを通して、「科学とは何か？」、「調査・研究・実験とは何か？」について深く踏み込みます。具体的には、各自が受賞の対象となった原著論文（＝新しい研究の成果を報告する論文。通常、英文で書かれている）を入手し、読み込み、発表する過程を通して、3年生以降でのゼミ活動や卒業研究で必要となる「研究能力」の基礎を身につけることを目的としています。データ処理の方法や統計学的なものの見方についても、簡単に扱います。春・秋学期に同様の内容で開講し、それぞれ15人までの少人数で授業をおこないます。希望者多数の場合は、春学期初回授業時に選抜をおこなうことがあります。また、希望者数が定員に達した場合は、2回目のガイダンスはおこなわない場合があるので、注意してください。

以下は、過去のセミナーにおいて発表テーマに選ばれた研究の例です。

- ・お酒を飲むと、人は魅力的になる？
- ・人はなぜため息をつくのか？
- ・名前をつけられた牛の方がミルクをたくさん出す？

原著論文を読むことは、初めは労力を要すると思いますが、大学1～2年次に体験しておくことで、その後のゼミ活動を円滑にスタートできるものと期待できます。その経験は、マスコミで咀嚼・改変された「ネット情報」のみに頼るのは、全く違う世界観を与えてくれるはずです。

成績評価方法：

通年の口頭発表・平常点（出席・活動への参加）を総合し、積極性・主体性・創意工夫に重点をおいて評価します。

テキスト（教科書）：

特に指定しません。

参考書：

志村幸雄（2009）「笑う科学 イグ・ノーベル賞」PHPサイエンスワールド新書

担当教員から履修者へのコメント：

- ・論理的かつ柔軟に物事を考えることが好きな人の受講を歓迎します。
- ・お金を換算できない「無駄なもの」にこそ価値があると考えている粋な人の受講を歓迎します。
- ・授業時間以外に発表準備（調査やプレゼンテーション準備）に多くの時間を要します。

質問・相談：

授業中その他に随時応じます。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (春学期)

自然数と整数の基本的性質

白旗 優

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーは、自然数と整数の基本的性質を証明することを通じて、履修者の数学的能力を育むことを目的とします。自然数と整数には、小学校での算数からずっと馴染んできたはずですが、曖昧な理解のまま過ごしてきた学生も多いのではないのでしょうか。最も基本的な法則と定義から出発して、どのようにして様々な基本的性質が導かれるのかを、ぜひ体感してください。参加する学生には、課題とされた問題の解答を書き上げ、それを授業時に発表してもらいます。解答は、十分なレベルに達するまで、何度でも書き直しを求めます。

成績評価方法：

課題をどれだけクリアできたか、および授業時での発表と、議論への参加度によって評価します。

テキスト (教科書)：

授業時にテキストと課題を配布します。

参考書：

必要に応じて授業時に指定します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では、特別な予備知識を必要としませんが、基本的な概念を理解して証明が書けるようになる、というのが目的ですので、数学的・論理的な訓練を受ける意思がない人は、受講しないでください。

※本セミナーは商学部での数理学プログラム認定科目の一つとなっています。

質問・相談：

授業時に受け付けます。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (秋学期)

集合・関係・関数

白旗 優

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

数学では、直観的な理解を正確な言葉で表現し、論理的に考察することがとても大切になります。現代の数学では、集合論がそうした言葉を提供しています。このセミナーでは、特に関数が集合を使ってどのように表現されるかを学び、微積分と線形代数で登場する関数を例にして、その正確な取り扱い方を習得していきます。参加する学生には、課題とされた問題の解答を書き上げ、それを授業時に発表してもらいます。解答は、十分なレベルに達するまで、何度でも書き直しを求めます。

成績評価方法：

課題をどれだけクリアできたか、および授業時での発表と、議論への参加度によって評価します。

テキスト (教科書)：

授業時にテキストと課題を配布します。

参考書：

必要に応じて授業時に指定します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では、特別な予備知識を必要としませんが、微積分と線形代数が既習である必要もありません。しかしながら、数学的な論述がきちんとできるようになる、というのが目的ですので、数学的・論理的な訓練を受ける意思がない人は、受講しないでください。

※本セミナーは商学部での数理学プログラム認定科目の一つとなっています。

質問・相談：

授業時に受け付けます。

総合教育セミナー S (I 類) 2 単位 (春学期)

気になる疑問を解き明かす～科学的アプローチの実践

新屋 みのり

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

私たちの周りは情報や知識で溢れかえっており、私たちは日常的にそれらを使って判断・決断し、そして行動しています。情報社会と言われる現代社会では、情報や知識は比較的容易に誰でも得ることができます。従って、個性が現れる重要な部分は、得た情報や知識を如何に使うか、だと言えます。そして、身に付けるのが難しいのはこの「使い方」です。本セミナーでは、情報や知識の「使い方」を学ぶことを第一の目的にしています。

そのために、自ら課題を設定して調査を行い、得た結果を基に自分なりの結論を出します。実は難しいのは課題設定なのですが、普段の生活で感じた小さな疑問からスタートし、仲間との討論を経て疑問を深め、具体的な課題へと発展

させます。設定した課題に対し、アンケート調査や簡単な実験などの様々な手法を検討した上で選択し、実行します。必要に応じて原著論文（成果を最初に報告した論文のこと）を読むことにもなるでしょう。こうして得た結果を基に、論理的に考えて結論を導き、互いに報告しあって討論を行います。これらの過程を通じ、信頼できる情報を如何に見抜くか、そして、その情報を如何に使うに論理を組み上げ、結論を導くかを学びます。また、本授業で行う発表・討論を通じ、自分の考えを他人に伝えるスキルや、様々な見方から自分なりの見解を構築する力を身につけることを期待しています。

成績評価方法：

平常点（出席や討論等への参加など）や報告書により評価します。

テキスト（教科書）：

特に決まった教科書は用いません。

参考書：

セミナーの中で必要に応じて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

積極的に討論に参加する意欲のある方、「考える」ことが好きな方、好奇心旺盛な方を歓迎します。受講人数や各人の興味によって、授業計画は臨機応変に変更します。尚、少人数セミナー形式の授業のため、希望者多数の場合は、初回授業時に選抜を行うことがあります。

質問・相談：

授業中および後に受け付けます。

総合教育セミナー S（I 類） 2 単位（春学期）

総合教育セミナー S（I 類） 2 単位（秋学期）

あまり計算をしない数学

藤沢 潤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「あまり計算をしない数学」であるグラフ理論を題材に用いて、これまでに知られていない事実を自分の力で明らかにしてもらいます。そして、自分が解明した内容を論理的に正しく口頭・文章で他者に説明できるようになることがこの授業の目標です。

成績評価方法：

研究発表の内容、レポートの内容、平常点で評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に紹介します。

参考書：

必要に応じて紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業は、数学やパズルが好きな学生を対象としています。また、特別な理由のない無断欠席は厳禁です。

※この授業は商学部数理科学プログラム認定科目のひとつとなっています。

質問・相談：

授業中・授業後の他に、アポイントを取ってもらえればいつでも受け付けます。

総合教育セミナー S（I 類） 2 単位（春学期）

総合教育セミナー S（I 類） 2 単位（秋学期）

生活の中の確率

安田 公美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このセミナーでは、私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にまつわる問題を、自分たちの力で解いていきます。ゲーム、席替え、ギャンブルなど、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけしてみましょう。

毎週、パズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な課題にもチャレンジできるよう進んでいきます。一つの課題に対して様々なアプローチがあり、高度な計算が必要と思われる問題が発想を変えたとたちまち簡単に解けてしまう、そんなミラクルも体験しましょう。また、問題からは想像もしなかった数や手法と結びつく不思議も味わうことができます。

数人のグループごとにディスカッションを行い、全員でアイデアを出しながら解決を目指します。そして、問題ごとに担当グループが次週に解法をプレゼンテーションします。板書だけでなく、書画カメラや PC からの投影も駆使して、簡潔で効果的なプレゼンテーションを行うスキルも身につけていきましょう。

成績評価方法：

グループによるディスカッションとプレゼンテーションで評価する。

テキスト（教科書）：

特に指定しない。

参考書：

必要に応じて紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者が定数を上回った場合、抽選で履修許可者を決定します。

自分の割り当てられた役割に対して最後まで責任を持ち、グループで協力して取り組む姿勢を期待します。不明な点は放置せず、授業中等に質問して解決する努力をして下さい。

当セミナーは、商学部数理科学プログラム認定科目のひとつになっています。

質問・相談：

授業中に受け付ける。

総合教育セミナー S（Ⅱ類）2 単位（春学期）

オペラ演出論

北川 千香子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

オペラ演出というと、古典的な衣装を身にまとった歌手が、きらびやかな舞台上で歌を披露する光景を思い浮かべる人は少なくないでしょう。そのため、ひょっとすると時代錯誤的な芸術という印象を抱いている人もいるかもしれません。しかしすでに30年以上前から、古典作品を従来とは全く違う形で解釈し直し、斬新な方法で提示する演出が、ドイツ語圏を中心にヨーロッパのオペラ劇場を席巻しています。こうしたいわゆる「読み替え演出」はしばしば物議を醸し、激しい論争を引き起こすことも稀ではありません。なぜこうしたことが起こり、その背景には何があるのでしょうか。そしていま、オペラ演出の最前線で何が起きているのでしょうか。本セミナーはこれらの問いを巡って展開します。

授業のなかでは、オペラの現代演出をいくつか取り上げて比較分析し、演出と台本との関係や演出と現代社会との関係などについて考察していきます。舞台演出の分析方法だけでなく、芸術作品を解釈するという営みそのものを実践的に学びます。

授業全体を通して、古典作品をアクチュアルに捉え直しユニークな形で提示する現代演出に触れることで、オペラ文化の刺激的で創造的な一面を体感できるでしょう。

成績評価方法：

平常点（出席、ディスカッションへの参加など）、プレゼンテーションおよび期末レポートをもとに総合的に評価します。

テキスト（教科書）：

教科書は使用しません。授業内で扱う文献はコピーして配布します。

参考書：

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

オペラや舞台演出に関する予備知識は必要ありません。テーマそのものに関心があり文献を読む意志のある学生、積極的に議論に参加する学生を歓迎します。なお、履修希望者が多数となった場合には選抜を行うことがありますので、履修希望者は開講前のガイダンスおよび初回の授業に必ず出席してください。また、履修者数や履修者の関心に応じて授業計画を若干変更する可能性があります。

この授業は商学部国際教養プログラム（ドイツ語圏）の対象科目ですが、他学部・他言語履修者も歓迎します。

質問・相談：

授業の前後およびメールで受け付けます。

総合教育セミナー S（Ⅱ類）2 単位（春学期）

朱子学と陽明学

酒井 規史

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

セミナー形式で、中国の思想について学んでいく授業である。今年度の春学期は、中国近世の儒教（朱子学・陽明学）をテーマとする。

朱子学は南宋時代に大成され、儒教の新しい流れを確立した。その後、明代には朱子学を批判的に継承する陽明学が出現し、儒教思想は新しい展開を見せていく。また、両者は日本などの周辺地域にも普及し、思想・文化に大きな影響をあたえた。朱子学・陽明学の思想を知ること、近世中国のみならず、同時代の周辺地域における知識人の思想・文化・倫理観についても理解を深めることができるであろう。

履修者には、朱子学・陽明学に関する著書や論文の講読を行った後、自分でテーマを決めてレポートを作成してもらう。その過程で学術的なリサーチの仕方とレポートの作成法について指導を行っていく。

レポート作成の際には、思考形態に注目する哲学的・思想的なアプローチ、社会的背景に注目する歴史的なアプローチなど様々な方法が考えられる。履修者の興味・関心に応じて、多様な観点から朱子学・陽明学について思索を深めて

もらいたい。

なお、担当者（酒井）が秋学期に開講する「総合教育セミナー S」は、科学をテーマにした授業である。セット履修は必須ではないが、合わせて受講することで近世儒教の制度面・社会的背景についても理解を深めることができるであろう。

成績評価方法：

講読のレジュメとレポートの完成度を総合して評価する。

正当な理由なく講読の担当をしなかった場合、理由のいかんを問わず期末のレポートを提出しなかった場合は単位の取得を認めない。

授業回数の3分の1以上欠席した場合も不合格とする。

テキスト（教科書）：

初回授業の際に候補を示し、履修者と相談の上で決定する。

現在のところ、まずはじめに以下の書籍のどちらかを講読することを予定している。

島田虔次『朱子学と陽明学』（岩波新書、1967年）

垣内景子『朱子学入門』（ミネルヴァ書房、2015年）

その後、時間的余裕があれば、より専門性の高い論文を講読する。

履修者の希望があれば、はじめから論文や研究書を講読することも検討する。

参考書：

授業中に随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

中国の思想・文化に興味のある学生の履修を歓迎する。

また、広く哲学・思想一般に関心を持つ学生の履修も歓迎する。

質問・相談：

授業時、もしくは授業の前後に受け付ける。

総合教育セミナー S（Ⅱ類）2 単位（秋学期）

科学と中国社会

酒井 規史

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

セミナー形式で、中国の思想とその社会的背景について学んでいく授業である。今年度の秋学期は科学をテーマとする。中国では宋代以降、官僚の選抜制度として科学が重んじられるようになった。科学は単にエリート官僚の選抜システムとして機能しただけでなく、儒教の經典やその解釈についての知識が必須であったため、儒教思想の普及を制度的に支えることになった。また、受験者の増加にともない、教育が普及するという作用もあった。

科学について知ること、中国近世の社会で儒家のエリート官僚たちが生み出されていった仕組みだけでなく、激しい受験競争に身を投じた知識人たちのメンタリティ、当時の教育制度についても総合的に理解を深めることができるであろう。また、現代も行われている各種のペーパーテストや、その受験を目的とした教育システムについて考える際にも参考になるはずである。

履修者には、科学に関する著書や論文の講読を行った後、自分でテーマを決めてレポートを作成してもらう。その過程で学術的なリサーチの仕方とレポートの作成法について指導を行っていく。

※なお、担当者（酒井）が春学期に開講する「総合教育セミナー S」は、中国近世の儒教（朱子学と陽明学）をテーマとしている。セット履修は必須ではないが、この授業と合わせて受講することで、中国近世の思想と社会の関わりについて理解を深めることができるであろう。

成績評価方法：

講読のレジュメとレポートの完成度を総合して評価する。

正当な理由なく講読の担当をしなかった場合、理由のいかんを問わず期末のレポートを提出しなかった場合は単位の取得を認めない。

授業回数の3分の1以上欠席した場合も不合格とする。

テキスト（教科書）：

初回授業の際に候補を示し、履修者と相談の上で決定する。

参考書：

授業中に随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント：

中国の思想・文化に興味のある学生の履修を歓迎する。

また、広く哲学・思想一般に関心を持つ学生の履修も歓迎する。

質問・相談：

授業時、もしくは授業の前後に受け付ける。

総合教育セミナー S (Ⅱ類) 2単位 (春学期)**総合教育セミナー S (Ⅱ類) 2単位 (秋学期)**

現代中国文学作品講読の試み

櫻庭 ゆみ子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

昨年中国の SF 小説『三体』が邦訳刊行され話題を呼んでいます。現代中国語で表現された文学領域では目下勢いのある SF 作品以外にも多くの興味深い作品があります。このセミナーでは中国現代文学が成熟する 20 世紀中期から今まで、現代中国語で書かれた小説、エッセイから幾つか選び、抄訳を取りいれながら読んでみます。中国語によって表現された世界の感触を味わってみることが目的です。邦訳がある場合は、中国語の原作と照らし合わせ、原文と日本語あるいは英語それぞれが提示する世界のずれにも注目してみます。

成績評価方法：

授業への取り組み（抄訳の課題のこなし具合）、議論の参加状況、最終レポートで総合的に判断する。

テキスト（教科書）：

初回に説明します。

担当教員から履修者へのコメント：

基本的に毎回翻訳作業をしてもらいます。参加する場合は中国語を一年以上履修していること、文学作品に興味があることが必須です。抄訳の長さは参加メンバーによって調整します。

総合教育セミナー S (Ⅱ類) 2単位 (春学期)

スペイン語を深める：文法と読解（1）

瀧本 佳容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

【本科目は国際教養プログラム（スペイン語圏）の対象科目です】

スペイン語の文法を深めることと読解力を培うことがこの授業の目的です。指定の文法教科書を用いた文法の速習および講読を行います。文法の到達目標は指定教科書の半分を終わらせることです。最初の数週間の授業は文法速習のみとし、その後は、文法速習と講読の両方を行います。講読の教材は、文法の進み具合や履修生の興味・嗜好により決定します。

スペイン語をまだ習っていない学生でも興味と意欲があればついてこられるような授業にします。スペイン語をすでに 1 年間習った学生にとっては、すでに学習した内容を復習しつつ深化・前進させることになるでしょう。いずれにしても、通常の外国語の授業とは目的と手段が逆です。文法を理解し練習問題などをして定着度を検証するのではなく、文章の読解をするという目的を果たすために文法を学習するというのがこの授業のコンセプトです。

また、この授業は外国語科目ではなく総合教育セミナーですから、履修生には活発な質問や発言をしてもらいたいと思います。お互いに知恵をしばって文法の理解や文章読解に取り組み、学期末には課題（授業中に決定します）を提出してもらいます。

かつての文法・読解を重んじる外国語教育に対し、読み書きはできるようになるが聞き取れず話せないという批判が高まったのもうずいぶん前のことです。そして、グローバル化が進みますと近年、聞く・話すというコミュニケーション能力の養成に重点を置いた教育法が徐々に支配的になりつつあります。このこと自体は良いのですが、学習時間は増えていないので、読解を行う時間は減少しました。

日常的な話題で流暢に話せるようになるための練習はもちろん大事です。とはいえ、外国語の「地頭」を成すのは文法です。そして、文法知識を使って濃い内容の文章を読むことによって、その外国語と日本語の間の表現方法の違いを理解したり外国語の語彙を増やしたりすることができます。最終的に聴解と会話の本当の底力となるのは、文法と読解力の養成です。

スペイン語の文法は、動詞の活用をはじめとして細かいことが実にたくさんあって複雑ですが、決して難解ではありません。スペイン語文法は精密にできているのであって、難解さはおそらく数学の一次方程式程度かそれ以下です。文法知識を駆使して文章の構造を理解する力を養成することは精密なスキルの習得にほかなりません。習熟度を自分で感じ取り、そこからさらなる学習意欲が生じるような授業にしたいと思います。

成績評価方法：

出席、予習状況、授業への参画態度、および、期末の課題を総合的に勘案します。

テキスト（教科書）：

文法：小林一宏、ガジェゴ、エレナ『スペイン語 文法と実践』朝日出版社、2009年。

ISBN 978-4-255-00467-9

講読：授業中に指示します。

参考書：

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業を取っても直ぐには会話は上手になりません。しかし、手を抜かずに取り組めば、文法を深く体系的に理解し、中長期的な会話・聴解能力の基礎を培うことができます。

質問・相談：

授業中に受け付けます。

総合教育セミナーS（Ⅱ類）2単位（秋学期）

スペイン語を深める：文法と読解（2）

瀧本 佳容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

【本科目は国際教養プログラム（スペイン語圏）の対象科目です】

春学期開講科目「スペイン語を深める：文法と読解（1）」の後編です。コンセプトや授業の進め方は「スペイン語を深める：文法と読解（1）」と同じです。違っているのは、到達目標が指定教科書の残り半分を終えること、という点です。これ以外の詳細は、「スペイン語を深める：文法と読解（1）」のシラバスを参照してください。

なお、「スペイン語を深める：文法と読解（1）」と「スペイン語を深める：文法と読解（2）」を併せて履修することをお勧めします。

成績評価方法：

出席、予習状況、授業への参画態度、および、期末の課題を総合的に勘案します。

テキスト（教科書）：

文法：小林一宏、ガジェゴ、エレナ『スペイン語 文法と実践』朝日出版社、2009年。

ISBN 978-4-255-00467-9

講読：授業中に指示します。

参考書：

授業中に指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業を取っても直ぐには会話は上手になりません。しかし、手を抜かずに取り組めば、文法を深く体系的に理解し、中長期的な会話・聴解能力の基礎を培うことができます。

質問・相談：

授業中に受け付けます。

総合教育セミナーS（Ⅱ類）2単位（春学期）

総合教育セミナーS（Ⅱ類）2単位（秋学期）

初期近代英国演劇を原文で読む

英 知明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

十七世紀初めに英国で出版された難解な演劇作品を、原文で読み進む。「文学作品」としての戯曲を解説しつつ、作品世界を深く探究する力を養う。当時の演劇社会全般と、本文テキスト生成への理解も深める。受講者は、原文を読み解けるだけの「十分に高度な英語力をすでに備えている」ことが必須の条件。

春・秋学期の初回授業（4月11日、10月3日）は非常に重要なため、欠席すると履修登録が認められない場合がある。

成績評価方法：

出席回数および授業への取り組み等、総合的に判断する。

半期欠席3回で「かなり厳しい」評価になります。

テキスト（教科書）：

必ず「担当教員による履修許可」が下りてから、生協で確認の上購入すること

それ以前に購入することは不可

参考書：

電子辞書を持参すること。

総合教育セミナーS（Ⅲ類）2単位（秋学期）

仕事とキャリアデザインについて考える

山本 勲

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業は、皆さんが社会で仕事を始める前に、自らのキャリアや職業観を主体的に考え、納得のできるキャリア選択をできるようになることを目標にしています。授業内容は、自己理解と環境理解の2本柱で構成されます。

自己理解については、皆さん自身に焦点を当て、自分の価値観や職業観、将来のビジョン、適性などを見出したり、再認識したりします。その過程では、履修者同士の対話、傾聴、グループワーク、ディスカッションなどを演習形式で繰り返します。

環境理解については、マクロ経済学や労働経済学の知見を踏まえながら、将来皆さんが仕事をする環境となる日本経

済・労働市場の動向について講義するほか、講義内容に関するディスカッションを行います。さらに、現在の日本の各産業がどのような状況にあり、そこで人々がどのように働いているかについて、社会人に対するインタビューを踏まえたグループ研究を行い、授業内で発表してもらいます。

成績評価方法：

平常点およびレポートで評価します。

テキスト（教科書）：

授業中に指定します。

参考書：

授業中に指定します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修希望者は、①将来の夢や希望、②この授業の履修を希望する理由、③現在関心を持っていることの3つについて、合計で1200字程度のレポートを作成して提出してください（書式・用紙は自由）。応募者多数の場合は、レポート内容と抽選によって選考します（選考は2年生を優先します）。なお、レポートの提出スケジュール等詳細は、4月に商学部掲示板に貼り出される掲示で確認してください。

質問・相談：

授業前後あるいはメールにて質問・相談を受け付けます。メールによるアポイントで随時面談も受け付けます。

英語選択（自主強化科目）履修希望用紙

提出期間・場所：4月1日(水) 8:45～3日(金) 10:30【厳守】

日吉学生部内 レポートボックス

この用紙の記入にあたっては、「外国語履修案内」をよく読み、授業の内容を十分に把握した上で行ってください。一人1枚しか提出できません。希望する科目の担当教員用の学生部内指定ボックスに提出してください。当選した科目をやむを得ない事情で辞退する場合は、4月の英語学習指導相談期間中に所定の手続きを行ってください。

商学部 年 組 学籍番号 _____

氏名（漢字）

（ローマ字）

必修英語クラスの履修レベル（基礎・中級・準上級・上級）と**1年次1月に受験したTOEIC IPのスコア**を記入してください。1年次1月 TOEIC 未受験者は申請できません。

（新一年生は記入する必要はありません。）

Reading Ia, Ib () Communication Ia, Ib ()
Reading IIa, IIb () Communication IIa, IIb ()
1月TOEIC IP Reading スコア () Listening スコア ()

入学方式 ↓いずれかを○で囲んでください。

1. 一般入試 2. 塾内進学(国内) 3. 塾内進学(NY学院) 4. 推薦 5. 帰国生 6. 留学生

履修を希望する授業を次の表から選択して1～6の番号で答え、希望学期の□にチェック(√)を入れてください。

履修希望授業番号（下記表より一つ選択して右欄に番号を記入）

履修希望学期（右に1箇所チェック√）： ☐春学期 ☐秋学期 ☐通年

	担当者	春学期	秋学期	曜日時限
1	コイデ テレサ	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	火3
2	吉田 友子	英語プレゼンテーション	英語アカデミックライティング	木3
3	デサンモリス グレグ	英語ディスカッション	英語ディベート	水2
4	デサンモリス グレグ	英語ディスカッション	英語ディベート	水3
5	チェン アンドリュー	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	月4
6	チェン アンドリュー	英語リスニングセミナー	英語リーディングセミナー	月5

複数の曜日時限を担当している教員の授業を希望する場合：いずれの時限でも履修が可能であれば、右の□にチェック(√)を入れてください。 ☐

《参考までに以下を記入してください。》

- 国際教養プログラム（英語圏）修了の認定証取得を目標としますか。 はい ・ いいえ
- 履修を希望する理由もしくは特に関心のあるテーマについて記入してください。

国際教養プログラム（英語圏） 履修計画書（2020年度・日吉用）

プログラム修了に向けて、4年間の英語選択科目履修計画を記してください。（計画通りに単位取得できなくても、ペナルティはありません。この計画書を提出することで、当該年度の自主強化科目などが優先的に履修できる場合があります。）

学籍番号		学年	ローマ字氏名					
科 目 名		担当教員（分かっている場合のみ記入）	履修予定学年に○をつけなさい。（すでに単位取得済みの科目には◎をつけなさい。）					
			1	2	3	4	単位数	
1・2 学年 配当	自主強化科目・その他の総合教育科目（半期2単位）							
	英語ディスカッション							
	英語ディベート							
	英語アカデミックライティング							
	英語プレゼンテーション							
	英語リーディングセミナー							
	英語リスニングセミナー							
	総合教育セミナー（半期2単位、通年4単位）							
	総合教育セミナー							
	その他の認定科目（外国語教育研究センター科目・国際センター科目（海外研修を含む））							
	科目が設置されたセンターに○をして科目名を記入							
	外・国							
外・国								
外・国								
外・国								
3・4 学年 配当	専攻科目Ⅳ類（半期2単位、通年4単位）							
	関連課題研究／国際教養演習							
	外国語演習 S（英語）							
	外国語演習 S（英語）							
	その他の認定科目（外国語教育研究センター科目・国際センター科目（海外研修を含む）・GPP科目）							
	科目が設置されたセンターに○をして科目名を記入（*GPPと国際センターとの併設科目は、どちらでも申請可）							
	外・国							
	外・国							
	外・国							
	外・国							
	GPP科目*							
GPP科目*								
GPP科目*								
GPP科目*								
英語選択科目の取得予定単位数（英語必修科目8単位に加えて、指定された総合教育セミナー・関連課題研究／国際教養演習から4単位以上、第3・第4年配当科目からの4単位以上を含む、英語選択科目16単位以上を取得してください。）							計	
あなたが大学で英語を学ぶ目的は何ですか。具体的な目標を記してください。								

商学部ドイツ語 インテンシブクラス申込書（2020年度）

提出期限 4月3日(金) 10:00まで
 提出場所 日吉学生部内 レポートボックス
 面接時間 4月3日(金) 10:30より
 面接場所 D301番教室（第4校舎独立館）

* 履修希望者が定員を超えた場合のみ選考を行います。

年	組	学籍番号
フリガナ 氏名		
履修を希望する理由		

商学部フランス語 インテンシブクラス申込書（2020年度）

提出期限 4月3日(金) 10:00まで
提出場所 日吉学生部内 レポートボックス
面接時間 4月3日(金) 10:30より
面接場所 D201番教室（第4校舎独立館）

1年 ____組 学籍番号_____

フリガナ

氏名 _____

履修を希望する理由

希望理由書提出期限：4月3日(金) 10:00まで

提出場所：日吉学生部内 レポートボックス

面接時間：4月3日(金) 2年 10:30～ 1年 11:00～

面接場所：D202番教室（第4校舎独立館）

中国語インテンシブクラス申込用紙（2020年度）

学年・組	年 組	学籍番号
氏 名		
履修希望理由		

商学部スペイン語 インテンシブクラス申込書（2020年度）

提出期限 4月3日(金) 10:00まで
 提出場所 日吉学生部内 レポートボックス
 面接時間 4月3日(金) 10:30より
 面接場所 D304番教室（第4校舎独立館）

1年	組	学籍番号
氏名		
履修を希望する理由を書いてください		